

ベルジピン注射液2mg/25mgの配合変化データはありません。
ベルジピン注射液10mgの配合変化データをご参照ください。

規制区分
劇薬、処方箋医薬品
注意－医師等の処方箋により使用すること

注射用Ca拮抗剤
ベルジピン®注射液2mg/10mg/25mg
Perdipine® Injection 2mg/10mg/25mg
日本薬局方 ニカルジピン塩酸塩注射液

本剤の色、pH、貯法＜添付文書記載値＞
色：微黄色澄明
pH：3.0～4.5
貯法：遮光、室温保存
pH変動試験
pH5.19で白濁

ベルジピン注射液10mg 配合変化表 <本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0～4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した

掲載番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	外観／pH／残存率				備考	
						配合剤	配合後				
		配合直後	3時間	6時間	24時間						
< 1 1 1 全身麻酔剤 >						[9 i] その他					
1	ケタラール10	三共エール - 三共	ケタミン塩酸塩	200mg/20mL	10mg/10mL	無色澄明 4.9	微黄色澄明 4.2 100.0	微黄色澄明 4.3 99.8	微黄色澄明 4.3 99.1	微黄色澄明 4.3 99.8	
2	1%ディプリバン注	アストラゼネカ	プロポフォール	10mg/1mL	10mg/10mL	白色の乳濁液 7.8	白濁* 3.6	白濁* 3.7	白濁* 3.6	白濁* 3.7	*：ディプリバンが乳濁液のため外観変化判定不能 配合剤の添付文書に「投与前に本剤を他の薬剤（5%ブドウ糖注射液を除く）と混合しないこと。」と記載
< 1 1 2 催眠鎮静剤, 抗不安剤 >						[4] ベンゾジアゼピン系製剤					
3	サイレース静注2mg	エーザイ	フルニトラゼパム	2mg/1mL+D. W. 1mL	10mg/10mL	無色澄明 4.3	微黄色澄明 3.6 100.0	微黄色澄明 3.6 -	微黄色澄明 3.6 99.9	微黄色澄明 3.6 99.6	
4	ロヒプノール静注用2mg	中外	フルニトラゼパム	2mg/1mL+D. W. 1mL	10mg/10mL	無色澄明 4.3	微黄色澄明 3.6 100.0	微黄色澄明 3.6 -	微黄色澄明 3.6 100.3	微黄色澄明 3.6 100.2	
5	ドルミカム注	ロシュ - 山之内	ミダゾラム	10mg/2mL	10mg/10mL	無色澄明 3.4	微黄色澄明 3.4 100.0	微黄色澄明 3.4 99.4	微黄色澄明 3.4 99.6	微黄色澄明 3.4 99.2	
< 1 1 3 抗てんかん剤 >						[2] ヒダントイン系製剤					
6	アレピアチン注250mg	大日本住友	フェニトインナトリウム	250mg/5mL	10mg/10mL	無色澄明 12.0	白濁 析出物 10.7	白濁 析出物 10.6	白濁 析出物 10.6	白濁 析出物 10.7	配合剤の添付文書に「本剤は強アルカリ性であるので、他剤とは配合できない」と記載
< 1 1 4 解熱鎮痛消炎剤 >						[3] サリチル酸系製剤					
7	へパルス	イセイ = ファルマー = 帝三	サリチル酸ナトリウム	500mg/10mL	10mg/10mL	無色澄明 6.8	白濁、析出物 5.8	白濁、析出物 6.0	白濁、析出物 6.0	白濁、析出物 5.9	
< 1 1 4 解熱鎮痛消炎剤 >						[9 i] その他					
8	レベタン注	大塚製薬	ブプレノルフィン塩酸塩	0.2mg*/1.0mL	10mg/10mL	無色澄明 4.2	微黄色澄明 3.7 100.0	微黄色澄明 3.8 100.1	微黄色澄明 3.8 99.4	微黄色澄明 3.8 99.1	*：ブプレノルフィン塩酸塩として0.216mg/ブプレノルフィンとして0.2mg
9	ロピオン注	科研	フルルビプロフェンアキセチル	50mg/5mL	10mg/10mL	白色乳濁 5.6	白色乳濁 3.9	白色乳濁 3.9	白色乳濁 3.9	白色乳濁 4.0	
10	ソセゴン注射液30mg	山之内	ペンタゾシン	30mg/1mL	10mg/10mL	無色澄明 4.2	無色澄明 4.2 100.0	— 4.2	— 4.3 104.2	— 4.2 105.6	
< 1 1 7 精神神経用剤 >						[9 i] その他					
11	セレネース注射液★	大日本	ハロペリドール	5mg/1mL	10mg/10mL	無色澄明 3.9	微黄色澄明 3.9 100.0	微黄色澄明 4.0 100.3	微黄色澄明 4.0 99.8	微黄色澄明 3.9 99.3	遮光保存
12	セレネース注5mg	大日本	ハロペリドール	5mg/1mL	10mg/10mL	無色澄明 3.9	微黄色澄明 3.9 100.0	微黄色澄明 3.9 99.0	微黄色澄明 3.9 100.2	微黄色澄明 3.9 99.0	
13	アタラックス-P注射液(50mg/ml)	ファイザー	ヒドロキシジン塩酸塩	50mg/1mL	10mg/10mL	無色澄明 4.5	微黄色澄明 3.9 100.0	微黄色澄明 4.0 99.8	微黄色澄明 4.0 99.2	微黄色澄明 3.9 99.1	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載 配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号: D. W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 <本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率				備考	
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間		24時間
<119 その他の中枢神経用薬>						[0] その他					
14	ラジカット注30mg	三菱ウェル ファーマ	エダラボン	30mg/20mL	10mg/10mL	無色澄明 4.0	微黄色澄明 3.9	微黄色澄明 4.0	微黄色澄明 4.0	微黄色澄明 3.9	
							100.0	101.0	99.3	99.5	
<121 局所麻酔剤>						[1] アミノ安息香酸アルカミンエステル製剤					
15	ロカイン注1%	扶桑 = アルフ レッサファーマ	プロカイン塩酸塩	300mg/30mL	30mg/30mL	無色澄明 4.4	微黄色澄明 4.1	微黄色澄明 4.1	微黄色澄明 4.1	微黄色澄明 4.1	
							100.0	100.6	100.5	100.7	
<121 局所麻酔剤>						[4] キシリジン系製剤					
16	静注用キシロカイン2%	アストラゼネカ	リドカイン塩酸塩	600mg/30mL	30mg/30mL	無色澄明 6.4	白濁* 5.8	白濁* 5.8	白濁* 5.8	沈殿* 5.8	*: 壁面に黄色付着物あり
<122 骨格筋弛緩剤>						[9i] その他					
17	マスキュラックス静注用	オルガノン - 三 共	ベクロニウム臭化物	4mg /Sol. 1mL	10mg/10mL	無色澄明 4.0	微黄色澄明 4.1	微黄色澄明 4.1	微黄色澄明 4.1	微黄色澄明 4.1	
							100.0	99.8	99.9	100.3	
<124 鎮けい剤>						[4] マグネシウム塩製剤					
18	静注用マグネゾール20mL	東亜薬品	硫酸マグネシウム水和物 (2g)・ブドウ糖(2g)	20mL	10mg/10mL	無色澄明 5.2	無色澄明 4.4	無色澄明 4.4	無色澄明 4.4	無色澄明 4.5	
							100.0	100.6	100.1	100.3	
<211 強心剤>						[3] ジギタリス製剤					
19	ジゴシン注★	中外	ジゴキシン	0.25mg/1mL	10mg/10mL	無色澄明 6.0	微黄色澄明 3.4	微黄色澄明 3.4	微黄色澄明 3.4	微黄色澄明 3.3	遮光保存
							100.0	100.3	99.5	100.4	
<211 強心剤>						[5] カフェイン系製剤					
20	ネオフィリン注	エーザイ	アミノフィリン水和物	250mg/10mL	10mg/10mL	無色澄明 8.9	白濁、析出物 8.3	白濁、析出物 8.9	白濁、析出物 8.9	白濁、析出物 8.9	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の /(溶解), +(希釈)の右側に記載の略号: D.W.は注射用水, Sal.は生理食塩液, Gul.はブドウ糖注射液, Sol.は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 <本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率				備考	
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間		24時間
<211 強心剤>						[9i] その他					
21	プロタノール-L注★	日研	l-イソプレナリン塩酸塩	1mg/5mL	10mg/10mL	無色澄明 3.9	微黄色澄明 4.0	微黄色澄明 3.9	微黄色澄明 3.9	微黄色澄明 4.0	遮光保存
							100.0	100.1	100.3	99.6	
22	プロタノール-L注	日研	l-イソプレナリン塩酸塩	1mg/5mL	10mg/10mL	無色澄明 4.0	微黄色澄明 4.0	微黄色澄明 4.0	微黄色澄明 4.0	微黄色澄明 4.0	
							100.0	100.0	100.0	99.0	
23	イノバン注★	協和発酵	ドパミン塩酸塩	50mg/2.5mL	10mg/10mL	無色澄明 4.6	微黄色澄明 3.9	微黄色澄明 3.9	微黄色澄明 3.8	微黄色澄明 3.7	遮光保存
							100.0	100.1	99.8	98.7	
24	イノバン注	協和発酵	ドパミン塩酸塩	200mg/10mL	10mg/10mL	無色澄明 4.1	微黄色澄明 3.7	微黄色澄明 3.7	微黄色澄明 3.6	微黄色澄明 3.5	
							100.0	99.9	99.8	98.5	
25	カコージンD注200	日本製薬 - 武田	ドパミン塩酸塩	200mg/200mL	10mg/10mL	無色澄明 3.9	微黄色澄明 3.8	微黄色澄明 3.8	微黄色澄明 3.7	微黄色澄明 3.5	
							100.0	100.2	98.5	91.6	
26	カタボン・Low	日研	ドパミン塩酸塩	200mg/200mL	10mg/10mL	無色澄明 3.6	無色澄明 3.6	無色澄明 3.4	無色澄明 3.4	無色澄明 3.4	
							100.0	100.1	98.6	97.8	
27	カタボン・Hi	日研	ドパミン塩酸塩	600mg/200mL	10mg/10mL	無色澄明 3.7	微黄色澄明 3.7	微黄色澄明 3.7	微黄色澄明 3.6	微黄色澄明 3.6	
							100.0	99.7	99.2	94.7	
28	ブレドパ注600	模範 = 協和発酵	ドパミン塩酸塩	600mg/200mL	10mg/10mL	無色澄明 3.9	無色澄明 4.0	無色澄明 3.7	無色澄明 3.6	無色澄明 3.7	
							100.0	98.2	98.6	99.4	
29	ドブトレックス注射液 100mg★	塩野義	ドブタミン塩酸塩	100mg*/5mL	10mg/10mL	無色澄明 3.0	微黄色澄明 3.4	微黄色澄明 3.4	微黄色澄明 3.4	微黄色澄明 3.4	遮光保存 *：ドブタミン塩酸塩として112.1mg/ドブタミンとして100mg
							100.0	99.5	98.7	98.3	
30	アクトシン注★	第一製薬	ブクラデシンナトリウム	300mg /Sol. 5mL	10mg/10mL	僅微黄色澄明 6.1	白色沈殿 5.5	白色沈殿 5.5	白色沈殿 5.5	白色沈殿 5.4	遮光保存
31	ミルリーラ注射液10mg	山之内	ミルリノン	10mg/10mL	10mg/10mL	無色澄明 3.6	微黄色澄明 3.6	微黄色澄明 3.6	微黄色澄明 3.6	微黄色澄明 3.7	
							100.0	100.3	100.5	100.3	
32	ミルリーラK注射液22.5mg	山之内	ミルリノン	22.5mg/150mL	10mg/10mL	無色澄明 3.7	微黄色澄明 3.7	微黄色澄明 3.8	微黄色澄明 3.7	微黄色澄明 3.8	
							100.0	100.2	100.1	99.0	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号 : D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 <本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率				備考	
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間		24時間
<212 不整脈用剤>						[1] プロカインアミド系製剤					
33	アミサリン注	第一製薬	プロカインアミド塩酸塩	100mg/1mL	10mg/10mL	無色澄明 5.2	微黄色澄明 4.6	微黄色澄明 4.6	微黄色澄明 4.6	微黄色澄明 4.6	
<212 不整脈用剤>						[3] β-遮断剤					
34	インデラル注射液2mg	住友製薬 - アストラゼネカ	プロプラノロール塩酸塩	2mg/2mL	10mg/10mL	無色澄明 3.1	微黄色澄明 3.4	微黄色澄明 3.4	微黄色澄明 3.4	微黄色澄明 3.3	
<212 不整脈用剤>						[9i] その他					
35	アスペノン注	三井	アブリンジン塩酸塩	100mg/10mL +5%Gul. 90mL	10mg/10mL	無色澄明 6.1	無色澄明 5.8	無色澄明 5.1	無色澄明 4.9	無色澄明 4.8	
36	タンボコール注50mg	エーザイ	フレカイニド酢酸塩	50mg/5mL	10mg/10mL	無色澄明 5.6	白濁, 析出物 5.5	白濁, 析出物 5.5	白濁, 析出物 5.5	白濁, 析出物 5.5	
37	ワソラン注★	エーザイ	ベラパミル塩酸塩	5mg/2mL	10mg/10mL	無色澄明 5.9	微黄色澄明 3.6		微黄色澄明 3.6	微黄色澄明 3.6	遮光保存
38	メキシチール注射液★	ベーリンガー - 田辺・大日本	メキシレチン塩酸塩	125mg/5mL	10mg/10mL	無色澄明 5.8	微黄色澄明 4.0	微黄色澄明 4.0	微黄色澄明 4.0	微黄色澄明 3.9	遮光保存
39	リスモダンP注★	ルセル - 中外	リン酸ジソピラミド	50mg/5mL + 5%Gul. 20mL	10mg/10mL	無色澄明 4.7	僅微黄色澄明 4.6	僅微黄色澄明 4.5	僅微黄色澄明 4.5	僅微黄色澄明 4.5	遮光保存
<213 利尿剤>						[3] 坑アルドステロン製剤					
40	ソルダクトン100mg★	サール・大日本	カンレノ酸カリウム	100mg /5%Gul. 10mL	10mg/10mL	微黄色澄明 9.2	微黄色白濁 7.9				遮光保存
<213 利尿剤>						[4] 炭酸脱水素酵素阻害剤					
41	注射用ダイアモックス	レダリー - 武田	アセタゾラミドナトリウム	500mg* /D. W. 5mL	10mg/10mL	無色澄明 9.2	白濁 9.2	白濁 9.2	白濁 9.2	白濁 9.2	* : アセタゾラミドとして500mg
<213 利尿剤>						[9i] その他					
42	ラシックス注★	ヘキスト	フロセミド	20mg/2mL	10mg/10mL	無色澄明 8.7	白濁 6.8				遮光保存
<214 血圧降下剤>						[9i] その他					
43	ニトプロ持続静注液30mg	丸石	ニトロプルシドナトリウム水和物	30mg/10mL +5%Gul. 20mL	10mg/10mL	黄色澄明 5.1	黄色 析出物 5.1	黄色 析出物 5.0	黄色 析出物 5.0	黄色 析出物 5.0	配合薬剤の添付文書に「併用注意」の記載あり
<216 血圧収縮剤>						[0i] その他					
44	ネオシネジンコーワ注1号	興和	フェニレフリン塩酸塩	1mg/1mL	10mg/10mL	無色澄明 5.2	白濁 5.2	白濁 5.2	白濁 5.2	白濁 5.2	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の /(溶解), +(希釈)の右側に記載の略号 : D. W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 <本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率				備考	
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間		24時間
< 2 1 7 血管拡張剤 >						[1] 冠血管拡張剤					
45	ペルサンチン注射液	日本ベーリン ガー	ジピリダモール	10mg/2mL	10mg/10mL	黄色 2.9	黄色 3.1	黄色 3.1	黄色 3.1	黄色 3.2	配合剤の添付文書に「ジピリダモールの化学的性質により配合変化を起こしやすいので、他の薬剤との混合注射はしないこと」と記載
							100.0	101.9	100.2	100.3	
46	ニトロール注5mg★	エーザイ	硝酸イソソルビド	5mg/10mL	10mg/10mL	無色澄明 4.7	微黄色澄明 4.5		微黄色澄明 4.6	微黄色澄明 4.5	遮光保存
							100.0		103.4	101.3	
47	サークレス注0.1%	高田 - 塩野義	硝酸イソソルビド	100mg/100mL	10mg/10mL	無色澄明 4.2	微黄色澄明 4.2	微黄色澄明 4.2	微黄色澄明 4.2	微黄色澄明 4.3	
							100.0	100.1	99.4	98.9	
47	サークレス注0.1%	高田	硝酸イソソルビド	50mg/50mL +Sal. 1000mL	10mg/10mL	無色澄明 5.2	無色澄明 5.1	無色澄明 5.2	無色澄明 5.2	無色澄明 5.2	
							100.0	97.2	98.0	99.1	
48	ヘルベッサー注射用50★	田辺	ジルチアゼム塩酸塩	50mg /5%GuI. 5mL	10mg/10mL	無色澄明 5.1	微黄色澄明 3.9	微黄色澄明 3.9	微黄色澄明 3.9	微黄色澄明 3.9	遮光保存
							100.0	99.9	100.0	100.2	
49	ヘルベッサー注射用250	田辺	ジルチアゼム塩酸塩	250mg /Sal. 5mL	10mg/10mL	無色澄明 4.9	微黄色澄明 3.8	微黄色澄明 3.8	微黄色澄明 3.8	微黄色澄明 3.9	
							100.0	96.2	94.8	95.4	
50	シグマート注2mg	中外	ニコランジル	2mg /Sal. 100mL	10mg/10mL	無色澄明 6.3	微黄色澄明 5.4	微黄色澄明 5.5	微黄色澄明 5.6	微黄色澄明 5.5	
							100.0	97.7	99.2	99.2	
51	ミリスロール注★	日本化薬	ニトログリセリン	1mg/2mL	10mg/10mL	無色澄明 5.9	微黄色澄明 4.1	微黄色澄明 4.0	微黄色澄明 4.0	微黄色澄明 4.0	遮光保存
							100.0	100.6	100.4	98.3	
52	ミオコール静注1mg	トーアエイヨー	ニトログリセリン	1mg/2mL	10mg/10mL	無色澄明 6.4	微黄色澄明 3.6	微黄色澄明 3.6	微黄色澄明 3.6	微黄色澄明 3.6	
							100.0	99.7	100.2	100.9	
53	ミリスロール注	日本化薬	ニトログリセリン	5mg/10mL	10mg/10mL	無色澄明 5.0	微黄色澄明 3.7	微黄色澄明 3.8	微黄色澄明 3.7	微黄色澄明 3.8	
							100.0	100.3	101.1	100.1	
54	ミオコール静注5mg	トーアエイヨー	ニトログリセリン	5mg/10mL	10mg/10mL	無色澄明 6.5	微黄色澄明 3.9	微黄色澄明 3.9	微黄色澄明 3.9	微黄色澄明 3.9	
							100.0	—	100.0	99.7	

< 2 1 7 血管拡張剤 >

[9 i] その他

55	ハンプ注射用1000	サントリー - ゼ リア	カルペリチド (遺伝子組換 え)	1,000 μg /D. W. 10mL	10mg/10mL	無色澄明 5.3	微黄色澄明 4.7	微黄色澄明 4.7	微黄色澄明 4.7	微黄色澄明 4.6	
							100.0	99.9	99.5	100.5	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号: D. W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, GuI. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 <本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率				備考	
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間		24時間
< 2 1 9 その他の循環器官用薬 >						[O i] その他					
56	ノバスタンHI注10mg/2mL	田辺三菱	アルマトロバン水和物	50mg/10mL	50mg/50mL	無色澄明 6.4	微黄色澄明 4.1	微黄色澄明 4.1	微黄色澄明 4.1	微黄色澄明 4.0	
57	リブル	ウェルファイド	アルプロスタジル	5μg/1mL	10mg/10mL	白色乳濁 5.8	微黄白色乳濁 3.5	微黄白色乳濁 3.4	微黄白色乳濁 3.5	微黄白色乳濁 3.5	配合剤の添付文書に「本剤を輸液以外の他の薬剤と混和使用しないこと」と記載
58	注射用プロスタンディン★	小野	アルプロスタジル アルファデクス	20μg* /Sal. 5mL	10mg/10mL	無色澄明 5.5	微黄色澄明 4.0	微黄色澄明 3.8	微黄色澄明 3.7	微黄色澄明 3.8	遮光保存 *：アルプロスタジルとして20μg
59	注射用プロスタンディン	小野	アルプロスタジル アルファデクス	20μg* /Sal. 5mL	10mg/10mL	無色澄明 5.9	微黄色澄明 3.7	微黄色澄明 3.7	微黄色澄明 3.7	微黄色澄明 3.7	*：アルプロスタジルとして20μg
60	インダシン静注用	万有	インドメタシンナトリウム	1mg /Sal. 1mL	10mg/10mL	淡黄色澄明 6.3	白濁 3.9	白濁 3.7	白濁 3.8	白濁、析出物 3.8	
61	ニコリン注射液	武田	シチコリン	500mg/10mL	10mg/10mL	無色澄明 7.1	白濁 6.2	白濁 6.2	白濁 6.2	白濁 6.2	
62	エリル注S	旭化成	ファスジル塩酸塩水和物	30.8mg*/2mL	10mg/10mL	無色澄明 6.0	微黄色澄明 4.8	微黄色澄明 4.8	微黄色澄明 4.8	析出物 4.8	*：塩酸ファスジル水和物として30.8mg/塩酸ファスジルとして30mg
63	20%マンニトール注射液「日研」	日研	D-マンニトール	20% 40mL	10mg/10mL	無色澄明 5.9	淡黄色澄明 4.2	淡黄色澄明 4.2	淡黄色澄明 4.2	淡黄色澄明 4.2	
63	20%マンニトール注射液「日研」	日研	D-マンニトール	20% 10mL	10mg/10mL	無色澄明 5.9	微黄色澄明 3.9	微黄色澄明 3.9	微黄色澄明 3.9	微黄色澄明 3.9	
64	注射用ルシドリール	大日本	メクロフェノキサート塩酸塩	250mg /Sol. 10mL	10mg/10mL	無色澄明 4.3	微黄色澄明 3.8	微黄色澄明 3.5	微黄色澄明 3.4	微黄色澄明 3.1	

< 2 1 9 その他の循環器官用薬 >

[O J] 配合剤

65	グリセオール注	中外	濃グリセリン・果糖	500mL	120mg/120mL (12管)	無色澄明 3.6	無色澄明 3.8		— 3.8	— 3.8	
65	グリセオール注	大塚工場 - 中外	濃グリセリン・果糖	10mL	10mg/10mL	無色澄明 3.7	微黄色澄明 3.6	微黄色澄明 3.6	微黄色澄明 3.6	微黄色澄明 3.6	

< 2 2 1 呼吸促進剤 >

[3] ジモルホラミン系製剤

66	テラプチク静注	エーザイ	ジモルホラミン	45mg/3mL	10mg/10mL	無色澄明 4.9	微黄色澄明 3.8	微黄色澄明 3.9	微黄色澄明 3.8	微黄色澄明 3.8	
67	ロルファン注射液	武田	レバルロファン酒石酸塩	1mg/1mL	10mg/10mL	無色澄明 3.7	微黄色澄明 3.7	微黄色澄明 3.7	微黄色澄明 3.7	微黄色澄明 3.7	

< 2 2 1 呼吸促進剤 >

[9 i] その他

68	アネキセート注射液0.5mg	山之内	フルマゼニル	0.5mg/5mL	10mg/10mL	無色澄明 4.1	微黄色澄明 3.8	微黄色澄明 3.8	微黄色澄明 3.8	微黄色澄明 3.8	
----	----------------	-----	--------	-----------	-----------	-------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--

< 2 2 2 鎮咳剤 >

[1] エフェドリン及びマオウ製剤

69	エフェドリン「ナガキ」注射液★	大日本	エフェドリン塩酸塩	40mg/1mL	10mg/10mL	無色澄明 6.5	微黄色澄明 3.7	微黄色澄明 3.7	微黄色澄明 3.7	微黄色澄明 3.8	遮光保存
----	-----------------	-----	-----------	----------	-----------	-------------	--------------	--------------	--------------	--------------	------

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載 配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号: D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 <本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率				備考	
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間		24時間
<223 去たん剤>						[4] ブロムヘキシン製剤					
70	ピソルボン注射液★	日本ベーリン ガー	ブロムヘキシン塩酸塩	4mg/2mL	10mg/10mL	無色澄明 2.7	微黄色澄明 3.1	微黄色澄明 3.1	微黄色澄明 3.1	微黄色澄明 3.1	遮光保存
							100.0	99.5	99.9	99.8	
71	ピソルボン注射液	B I S - 日本 ベーリンガー	ブロムヘキシン塩酸塩	4mg/2mL	10mg/10mL	無色澄明 2.7	微黄色澄明 3.0	微黄色澄明 3.1	微黄色澄明 3.1	微黄色澄明 3.1	
							100.0	100.2	99.6	100.3	
<225 気管支拡張剤>						[2] イソプレナリン系製剤					
72	ブリカニール注射液	藤沢 - アストラ ゼネカ	テルブタリン硫酸塩	0.2mg/1mL	10mg/10mL	無色澄明 3.3	微黄色澄明 3.5	微黄色澄明 3.4	微黄色澄明 3.4	微黄色澄明 3.5	・配合剤の添付文書に「皮下注のみ」の記載あり。
							100.0	100.5	99.6	101.2	
<232 消化性潰瘍剤>						[5] H ₂ 遮断剤					
73	ガスター注射液20mg	アステラス	ファモチジン	20mg/2mL +Sal. 50mL	10mg/10mL	無色澄明 5.9	結晶析出 5.7	結晶析出 5.7	結晶析出 5.8	結晶析出 5.8	
73	ガスター注射液20mg	アステラス	ファモチジン	20mg/2mL +Sal. 100mL	10mg/10mL	無色澄明 5.9	わずかに結晶析出 5.7	わずかに結晶析出 5.7	わずかに結晶析出 5.7	わずかに結晶析出 5.8	
73	ガスター注射液20mg	アステラス	ファモチジン	20mg/2mL +Sal. 200mL	10mg/10mL	無色澄明 5.9	無色澄明 5.8	無色澄明 5.8	無色澄明 5.8	無色澄明 5.8	
							100.0	99.8	100.5	100.2	
73	ガスター注射液20mg	アステラス	ファモチジン	20mg/2mL +5%GuI. 50mL	10mg/10mL	無色澄明 5.9	結晶析出 5.6	結晶析出 5.6	結晶析出 5.6	結晶析出 5.6	
73	ガスター注射液20mg	アステラス	ファモチジン	20mg/2mL +5%GuI. 100mL	10mg/10mL	無色澄明 5.9	わずかに結晶析出 5.6	わずかに結晶析出 5.6	わずかに結晶析出 5.6	わずかに結晶析出 5.6	
73	ガスター注射液20mg	アステラス	ファモチジン	20mg/2mL +5%GuI. 200mL	10mg/10mL	無色澄明 5.9	無色澄明 5.6	無色澄明 5.5	無色澄明 5.5	無色澄明 5.5	
							100.0	99.7	99.0	98.9	
74	ザンタック注射液	グラクソ = 三共	ラニチジン塩酸塩	50mg/2mL	10mg/10mL	無色澄明 7.0	白濁 6.4	白濁 6.4	白濁 6.4	白濁 6.4	
<232 消化性潰瘍剤>						[9A] 動物製剤					
75	ソルコセリル「注」	東菱 - 大鵬薬品	幼牛血液抽出物	2mL	10mg/10mL	無色澄明 7.0	白濁 6.1	白濁 6.1	白濁 6.1	白濁 6.1	
<239 その他の消化器官用薬>						[1] 鎮吐剤					
76	ナゼア注射液0.3mg	山之内	ラモセトロン塩酸塩	0.3mg/2mL	10mg/10mL	無色澄明 4.5	微黄色澄明 4.2	微黄色澄明 4.2	微黄色澄明 4.2	微黄色澄明 4.2	
							100.0	100.3	100.2	100.0	
<239 その他の消化器官用薬>						[9i] その他					
77	プリンペラン注射液	ニプロファーマ - 藤沢	塩酸メトクロプラミド	10mg/2mL	10mg/10mL	無色澄明 3.1	微黄色澄明 3.5	微黄色澄明 3.5	微黄色澄明 3.5	微黄色澄明 3.5	
							100.0	99.3	99.4	98.3	
<241 脳下垂体ホルモン剤>						[4] 脳下垂体後葉ホルモン剤					
78	ピトレシン注射液	三共	バソプレシン	20単位/1mL	10mg/10mL	無色澄明 3.7	微黄色澄明 3.5	微黄色澄明 3.5	微黄色澄明 3.5	微黄色澄明 3.5	
							100.0	99.9	99.6	100.6	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号: D. W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, GuI. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 <本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率				備考	
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間		24時間
＜245 副腎ホルモン剤＞						[1] エピネフリン製剤					
79	ボスミン注★	第一製薬	アドレナリン	1mg/1mL	10mg/10mL	無色澄明 3.1	微黄色澄明 3.5	微黄色澄明 3.4	微黄色澄明 3.4	微黄色澄明 3.5	遮光保存
80	ボスミン注	第一製薬	アドレナリン	1mg/1mL	10mg/10mL	無色澄明 3.2	微黄色澄明 3.4	微黄色澄明 3.4	微黄色澄明 3.4	微黄色澄明 3.4	
81	ノルアドリナリン★	三共	ノルアドレナリン	1mg/1mL	10mg/10mL	無色澄明 2.5	微黄色澄明 3.3	微黄色澄明 3.3	微黄色澄明 3.2	微黄色澄明 3.3	遮光保存
82	ノルアドリナリン	三共エール - 三共	ノルアドレナリン	1mg/1mL	10mg/10mL	無色澄明 2.5	微黄色澄明 3.2	微黄色澄明 3.2	微黄色澄明 3.2	微黄色澄明 3.2	
＜245 副腎ホルモン剤＞						[2] コルチゾン系製剤					
83	ソル・コーテフ	住友製薬 - アップジョン	ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム	100mg*/ Sol. 2mL	10mg/10mL	微黄色澄明 7.5	白濁 7.0				*：ヒドロコルチゾンとして100mg/ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウムとして133.7mg
84	サクシゾン100	日研	ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム	100mg*/ Sol. 2mL	10mg/10mL	無色澄明 7.3	白濁 7.0	白濁 7.0	白濁 7.0	白濁 7.0	*：ヒドロコルチゾンとして100mg/ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウムとして133.7mg
＜245 副腎ホルモン剤＞						[4] フッ素付加副腎皮質ホルモン製剤					
85	デカドロン注射液	万有	デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム	6.6mg*/2mL	10mg/10mL	無色澄明 7.8	白濁 6.8	白濁 6.8	白濁 6.8	白濁 6.8	*：デキサメタゾンリン酸エステルとして8mg/デキサメタゾンとして6.6mg
86	リンデロン注	塩野義	ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム	4mg*/1mL	10mg/10mL	無色澄明 7.6	白濁 6.7	白濁 6.7	白濁 6.8	白濁 6.8	*：ベタメタゾンリン酸エステルナトリウムとして5.3mg/ベタメタゾンとして4mg
＜245 副腎ホルモン剤＞						[6] プレドニゾン系製剤					
87	水溶性プレドニン10mg	塩野義	プレドニゾンコハク酸エステルナトリウム	10mg*/ D. W. 1mL	10mg/10mL	無色澄明 6.9	白濁 5.8				*：プレドニゾンコハク酸エステルとして12.78mg/プレドニゾンとして10mg
88	ソル・メドロール125	アップジョン - 住友製薬	メチルプレドニゾンコハク酸エステルナトリウム	125mg*/ Sol. 2mL	10mg/10mL	無色澄明 7.6	白濁 7.3				*：メチルプレドニゾンコハク酸エステルナトリウムとして165.7mg/メチルプレドニゾンとして125mg
＜249 その他のホルモン剤（抗ホルモン剤を含む。）＞						[2] すい臓ホルモン剤					
89	ノボリンR注100単位/mL	ノボ	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	100単位/1mL (0.1N ⁺ 17μ)	10mg/10mL	無色澄明 7.5	微黄色澄明 4.2	微黄色澄明 4.2	微黄色澄明 4.2	微黄色澄明 4.2	
90	ヒューマリンR注U-100	リリー	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	100単位/10mL	10mg/10mL	無色澄明 7.3	白濁 5.4	沈殿 5.4	沈殿 5.4	沈殿 5.4	
＜259 その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬＞						[0J] 配合剤					
91	マグセント注100mL	東亜薬品	硫酸マグネシウム水和物・ブドウ糖	100mL	10mg/10mL	無色澄明 5.4	無色澄明 4.9	無色澄明 4.9	無色澄明 4.9	無色澄明 5.0	
＜313 ビタミンB剤（ビタミンB ₁ 剤を除く。）＞						[1] ビタミンB ₂ 剤					
92	フラビタン注射液10mg	トーアエイヨー - 山之内	フラビンアデニンジヌクレオチド	10mg/1mL	10mg/10mL	黄色澄明 5.8	沈殿 4.9	沈殿 5.0	沈殿 5.1	沈殿 5.0	
＜313 ビタミンB剤（ビタミンB ₁ 剤を除く。）＞						[3] パントテン酸系製剤					
93	パントール注射液100mg	トーアエイヨー - 山之内	パントノール	100mg/1mL	10mg/10mL	無色澄明 6.3	微黄色澄明 4.2	微黄色澄明 4.2	微黄色澄明 4.1	微黄色澄明 4.1	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号: D. W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 <本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率					備考
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間	24時間	
<313 ビタミンB剤（ビタミンB ₁ 剤を除く。）>						[4] ビタミンB ₆ 剤					
94	ピドキサル注30mg	中外	ピリドキサルリン酸エステル水和物	210mg/7mL	70mg/70mL	微黄色澄明 6.3	白濁* 6.5	白濁* 6.5	白濁* 6.4	沈殿* 6.2	*: 壁面に黄色付着物あり
<313 ビタミンB剤（ビタミンB ₁ 剤を除く。）>						[6] ビタミンB ₁₂ 剤					
95	メチコパール注射液500μg★	エーザイ	メコバラミン	3500μg/7mL	70mg/70mL	赤色澄明 7.2	赤色澄明 3.6	赤色澄明 3.6	赤色澄明 3.6	赤色澄明 3.7	遮光保存
<314 ビタミンC剤>						[0i] ビタミンC製剤					
96	ピタシミン注射液500mg	武田	アスコルビン酸	500mg/2mL	10mg/10mL	無色澄明 6.6	白濁 析出物 6.3	白濁 析出物 6.3	白濁 析出物 6.3	無色澄明 析出物 沈殿 6.4	
<316 ビタミンK剤>						[0] ビタミンK製剤					
97	ケイツーN注	エーザイ	メナテトレノン(2)	10mg/2mL	10mg/10mL	微濁 7.5	微濁 3.8	微濁 3.7	微濁 3.7	微濁 3.7	
<317 混合ビタミン剤（ビタミンA・D混合製剤を除く。）>						[2] ビタミンB・C複合製剤					
98	プレビタS注射液	扶桑	チアミン・アスコルビン酸配合剤	20mL	40mg/40mL	黄色澄明 4.7	黄色澄明 4.7	黄色澄明 4.7	黄色澄明 4.7	黄色澄明 4.8	
<317 混合ビタミン剤（ビタミンA・D混合製剤を除く。）>						[9K] VB ₁ ・VB ₆ ・VB ₁₂ 複合剤（VB ₂ 配合を含む）					
99	ネオラミン・スリーピー液（静注用）	日本化薬	チアミンジスルフィド・B ₆ ・B ₁₂ 配合剤	10mL	10mg/10mL	淡紅色澄明 3.4	淡紅色澄明 3.4	淡紅色澄明 3.5	淡紅色澄明 3.4	淡紅色澄明 3.5	
100	ピタメジン静注用	三共	リン酸チアミンジスルフィド・B ₆ ・B ₁₂ 配合剤	1瓶 /Sal. 20mL	10mg/10mL	淡赤色澄明 4.7	淡紅色澄明 4.7	淡紅色澄明 4.7	淡紅色澄明 4.7	淡紅色澄明 4.6	
<317 混合ビタミン剤（ビタミンA・D混合製剤を除く。）>						[9N] 総合ビタミン剤					
101	オーツカMV注	大塚製薬	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(2)	1号(凍乾)・2号(4mL)	10mg/10mL	黄色澄明 6.0	黄色澄明 5.8	黄色澄明 5.8	黄色澄明 5.8	黄色澄明 5.9	
102	ネオラミン・マルチV	日本化薬 = 科研	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(4)	1瓶 /D.W. 5mL	10mg/10mL	黄色澄明 5.0	黄色澄明 5.0	黄色澄明 5.0	黄色澄明 5.0	黄色澄明 5.0	
103	マルタミン注射用	三共	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(6)	1瓶 /Sal. 5mL	10mg/10mL	黄色澄明 4.7	黄色澄明 4.7	黄色澄明 4.7	微濁 4.8	微濁 4.8	
104	ピタジェクト	テルモ = 日本化薬	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(7)	A液(5mL)・B液(5mL)	10mg/10mL	黄色澄明 4.9	黄色澄明 4.9	黄色澄明 4.9	黄色澄明 4.9	黄色澄明 5.0	
<321 カルシウム剤>						[3] グルコン酸カルシウム製剤					
105	カルチコール注射液	大日本	グルコン酸カルシウム水和物	425mg/5mL	10mg/10mL	無色澄明 6.4	白濁 5.6	白濁 5.6	白濁 5.6	白濁 5.6	
<322 無機質製剤>						[2] 鉄化合物製剤（有機酸鉄を含む。）					
106	フェジン静注40mg	日医工	含糖酸化鉄	40mg/2mL	10mg/10mL	暗褐色粘性の液 9.9	赤褐色 析出物※ 8.6	赤褐色 析出物 8.3	赤褐色 析出物 8.4	赤褐色 析出物 8.0	※：配合溶液を遠心分離したところ、沈殿は白色であった

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の/(溶解), +(希釈)の右側に記載の略号: D.W.は注射用水, Sal.は生理食塩液, Gul.はブドウ糖注射液, Sol.は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 <本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率					備考
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間	24時間	
<322 無機質製剤>						[9i] その他					
107	アスパラK注射液	田辺	L-アスパラギン酸カリウム	1.712g/10mL	10mg/10mL	無色澄明 6.8	白濁 6.5				
108	K. C. L. 注射液(1号) ★	丸石	塩化カリウム(リン酸リボフ ラビン添加)	3g/20mL	10mg/10mL	黄色澄明 5.5	黄色澄明 5.1 100.0	黄色澄明 5.1 99.8	黄色澄明 5.0 91.2	黄色澄明 5.0 92.2	遮光保存
109	K. C. L. 注射液(1号)	丸石：大阪	塩化カリウム(リン酸リボフ ラビン添加)	3g/20mL	10mg/10mL	黄色澄明 5.5	黄色澄明 4.8 100.0	黄色澄明 4.8 56.5	黄色澄明 4.8 0.0	黄色澄明 4.8 0.0	
<322 無機質製剤>						[9K] 微量元素配合剤					
110	エレメンミック注	味の素ファルマ	塩化マンガン・硫酸亜鉛水和 物配合剤(1)	2mL	10mg/10mL	暗赤褐色澄明 5.4	沈殿 4.8	沈殿 4.8	沈殿 4.9	沈殿 4.8	
111	ミネラリン注	日本製薬 - 武田	塩化マンガン・硫酸亜鉛水和 物配合剤(1)	2mL	10mg/10mL	暗赤褐色澄明 5.4	沈殿 4.8	沈殿 4.9	沈殿 4.9	沈殿 5.0	
<323 糖類>						[1] ブドウ糖製剤					
112	大塚糖液5%	大塚工場	ブドウ糖	5% 500mL	120mg/120mL (12管)	無色澄明 4.4	無色澄明 4.2 100.0		— 4.2 99.1	— 4.2 99.2	
113	テルモ糖注	テルモ	ブドウ糖	5% 100mL	10mg/10mL	無色澄明 5.1	微黄色澄明 4.5 100.0	微黄色澄明 4.5 100.3	微黄色澄明 4.5 101.3	微黄色澄明 4.6 95.2	
114	小林糖液5%	小林薬工	ブドウ糖	5% 20mL	10mg/10mL	無色澄明 5.3	微黄色澄明 4.0 100.0	微黄色澄明 4.0 100.3	微黄色澄明 4.1 100.2	微黄色澄明 4.1 100.4	
115	大塚糖液50%	大塚工場	ブドウ糖	50% 20mL	10mg/10mL	無色澄明 3.2	微黄色澄明 3.2 100.0	微黄色澄明 3.2 99.7	微黄色澄明 3.2 99.9	微黄色澄明 3.2 98.5	
<323 糖類>						[2] 果糖製剤					
116	5%フルクトン注 (販売中止)	大塚工場 - 大鵬	果糖	5% 500mL	120mg/120mL (12管)	無色澄明 4.1	無色澄明 3.9 100.0		— 3.9 100.0	— 4.0 99.7	販売中止
116	5%フルクトン注 (販売中止)	大塚工場	果糖	5% 10mL	10mg/10mL	無色澄明 3.8	微黄色澄明 3.7 100.0	微黄色澄明 3.7 100.5	微黄色澄明 3.7 101.2	微黄色澄明 3.7 100.6	販売中止
<323 糖類>						[3] マルトース製剤					
117	マルトス-10	大塚工場	マルトース水和物	10% 500mL	120mg/120mL (12管)	無色～微黄色澄明 4.7	無色～微黄色澄明 4.1 100.0		— 4.1 100.0	— 4.1 99.0	
117	マルトス-10	大塚工場	マルトース水和物	10% 10mL	10mg/10mL	無色澄明 4.5	微黄色澄明 3.8 100.0	微黄色澄明 3.8 100.6	微黄色澄明 3.8 98.7	微黄色澄明 3.8 99.4	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の/(溶解), +(希釈)の右側に記載の略号: D.W.は注射用水, Sal.は生理食塩液, Gul.はブドウ糖注射液, Sol.は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 <本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率					備考
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間	24時間	
<323 糖類>						[4] キシリトール製剤					
118	5%キリット注	大塚工場 - 大鵬	キシリトール	5% 500mL	120mg/120mL (12管)	無色澄明 5.8	無色澄明 4.6	— 100.0	— 101.4	— 101.3	
119	キリット注5%	大塚工場	キシリトール	5% 10mL	10mg/10mL	無色澄明 6.0	微黄色澄明 3.8	微黄色澄明 3.8	微黄色澄明 3.8	微黄色澄明 3.8	
120	クリニット注5% (販売中止)	小林薬工 - エーザイ	キシリトール	5% 500mL	120mg/120mL (12管)	無色澄明 6.0	無色澄明 4.3	— 100.0	— 101.6	— 101.9	販売中止
121	クリニット注10%	小林薬工 - エーザイ	キシリトール	10% 500mL	120mg/120mL (12管)	無色澄明 5.9	無色澄明 4.4	— 100.0	— 101.8	— 102.0	
121	クリニット注10%	小林薬工	キシリトール	10% 10mL	10mg/10mL	無色澄明 6.5	微黄色澄明 3.9	微黄色澄明 3.8	微黄色澄明 3.8	微黄色澄明 3.9	
<323 糖類>						[9K] ソルビトール・マンニトール製剤					
122	マンニトールS注射液	日研	D-ソルビトール・D-マンニトール	500mL	120mg/120mL (12管)	無色澄明 6.5	無色澄明 4.5	— 100.0	— —	— 101.5	
122	マンニトールS注射液	日研	D-ソルビトール・D-マンニトール	10mL	10mg/10mL	無色澄明 6.1	微黄色澄明 3.8	微黄色澄明 3.9	微黄色澄明 3.9	微黄色澄明 3.9	
<323 糖類>						[9T] その他の配合剤					
123	トリパレン1号	大塚工場	高カロリー輸液用基本液(4-1)	40mL	10mg/10mL	無色澄明 4.7	淡黄色澄明 4.7	淡黄色澄明 4.7	淡黄色澄明 4.7	淡黄色澄明 4.7	
123	トリパレン1号	大塚工場	高カロリー輸液用基本液(4-1)	10mL	10mg/10mL	無色澄明 4.6	微黄色澄明 4.6	微黄色澄明 4.6	微黄色澄明 4.6	微黄色澄明 4.6	
124	ハイカリック液-1号	テルモ	高カロリー輸液用基本液(5-1)	40mL	10mg/10mL	無色澄明 4.4	淡黄色澄明 4.5	淡黄色澄明 4.5	淡黄色澄明 4.5	淡黄色澄明 4.5	
124	ハイカリック液-1号	テルモ	高カロリー輸液用基本液(5-1)	10mL	10mg/10mL	無色澄明 4.5	微黄色澄明 4.5	微黄色澄明 4.5	微黄色澄明 4.5	微黄色澄明 4.5	
125	ハイカリック液-2号	テルモ	高カロリー輸液用基本液(5-2)	40mL	10mg/10mL	無色澄明 4.4	淡黄色澄明 4.4	淡黄色澄明 4.4	淡黄色澄明 4.4	淡黄色澄明 4.4	
125	ハイカリック液-2号	テルモ	高カロリー輸液用基本液(5-2)	10mL	10mg/10mL	無色澄明 4.4	微黄色澄明 4.5	微黄色澄明 4.4	微黄色澄明 4.5	微黄色澄明 4.5	
126	ハイカリック液-3号	テルモ	高カロリー輸液用基本液(5-3)	40mL	10mg/10mL	無色澄明 4.0	淡黄色澄明 4.0	淡黄色澄明 4.1	淡黄色澄明 4.0	淡黄色澄明 4.0	
126	ハイカリック液-3号	テルモ	高カロリー輸液用基本液(5-3)	10mL	10mg/10mL	無色澄明 4.0	微黄色澄明 4.1	微黄色澄明 4.1	微黄色澄明 4.1	微黄色澄明 4.1	
127	ハイカリックRF	テルモ	高カロリー輸液用基本液(5-7)	250mL	60mg/60mL	無色澄明 4.4	微黄色澄明 4.5	微黄色澄明 4.5	微黄色澄明 4.5	微黄色澄明 4.5	
127	ハイカリックRF	テルモ	高カロリー輸液用基本液(5-7)	10mL	10mg/10mL	無色澄明 4.5	微黄色澄明 4.6	微黄色澄明 4.6	微黄色澄明 4.5	微黄色澄明 4.6	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の/(溶解), +(希釈)の右側に記載の略号: D.W.は注射用水, Sal.は生理食塩液, Gul.はブドウ糖注射液, Sol.は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 <本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したのものには製品名の後に★を付した

掲載番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	外観／pH／残存率				備考		
						配合剤	配合後					
							配合直後	3時間	6時間	24時間		
<325 たん白アミノ酸製剤>						[3] 混合アミノ酸製剤						
128	アミノレバン	大塚工場	肝不全用アミノ酸製剤(1)	500mL	120mg/120mL (12管)	無色澄明 6.0	+※ 6.0		± 5.9	- 5.9	※：配合直後より混濁	
129	プロテアミン12注射液	テルモ	高カロリー輸液用総合アミノ酸製剤(1)	30mL	30mg/30mL	無色澄明 6.1	白濁* 6.0	白濁* 6.0	白濁* 6.0	白濁* 6.0	*：壁面に黄色付着物あり	
130	アミパレン	大塚工場	高カロリー輸液用総合アミノ酸製剤(4)	40mL	10mg/10mL	無色澄明 7.0	白濁 7.0	白濁 7.0	白濁 6.9	白濁 7.0		
131	ネオアミュー	HMR	腎不全用アミノ酸製剤(1-2)	200mL	10mg/10mL	無色澄明 7.1	白濁 7.2	白濁 7.2	白濁 7.2	白濁 7.2		
132	キドミン	大塚工場	腎不全用アミノ酸製剤(2-1)	40mL	10mg/10mL	無色澄明 6.9	白濁 6.9	白濁 6.9	白濁 6.9	沈殿 6.9		

<325 たん白アミノ酸製剤>

[9J] 混合アミノ酸・ブドウ糖製剤

133	プラスアミノ	大塚工場	総合アミノ酸製剤(ブドウ糖加)	500mL	120mg/120mL (12管)	無色～微黄色澄明 4.5	無色～微黄色澄明 4.5		- 4.4	- 4.4		
							100.0			99.7		
133	プラスアミノ	大塚工場	総合アミノ酸製剤(ブドウ糖加)	10mL	10mg/10mL	無色澄明 4.5	微黄色澄明 4.5	微黄色澄明 4.5	微黄色澄明 4.5	微黄色澄明 4.5		
							100.0	100.9	100.2	98.9		

<325 たん白アミノ酸製剤>

[9L] 混合アミノ酸・ソルビトール製剤

134	ハイ・プレアミンS注-10%	扶桑	総合アミノ酸製剤(ソルビトール加)	30mL	30mg/30mL	無色澄明 5.5	壁面に黄色付着物 5.4	壁面に黄色付着物 5.4	壁面に黄色付着物 5.4	壁面に黄色付着物 5.4		
-----	----------------	----	-------------------	------	-----------	-------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	--	--

<325 たん白アミノ酸製剤>

[9N] 混合アミノ酸・ブドウ糖・無機塩類製剤

135	アミカリック	テルモ = 田辺	アミノ酸・糖・電解質(1)	40mL	10mg/10mL	無色澄明 5.1	淡黄色澄明 5.1	淡黄色澄明 5.1	淡黄色澄明 5.1	淡黄色澄明 5.1		
							100.0	99.7	100.5	98.0		
136	アミノトリパ1号	大塚工場	アミノ酸・糖・電解質(2-1)	40mL*	10mg/10mL	無色澄明 5.6	微黄色澄明 5.6	微黄色澄明 5.6	微黄色澄明 5.5	微黄色澄明 5.5	*：上室液(250mL)・下室液(600mL)を混合した後、必要量を本剤と配合	
							100.0	100.0	100.2	100.5		
137	アミノトリパ2号	大塚工場	アミノ酸・糖・電解質(2-2)	40mL*	10mg/10mL	無色澄明 5.6	微黄色澄明 5.6	微黄色澄明 5.6	微黄色澄明 5.5	微黄色澄明 5.5	*：上室液(300mL)・下室液(600mL)を混合した後、必要量を本剤と配合	
							100.0	100.4	100.5	100.3		
138	アミノフリード	大塚工場	アミノ酸・糖・電解質(2-3)	500mL*	10mg/10mL	無色澄明※ 6.7	無色澄明 6.7	無色澄明 6.7	無色澄明 6.7	無色澄明 6.6	※：配合直後に混濁するが振り混ぜると消失 *：上室液(150mL)・下室液(350mL)を混合した後、本剤と配合	
							100.0		99.6	98.9		
138	アミノフリード	大塚工場	アミノ酸・糖・電解質(2-3)	10mL*	10mg/10mL	無色澄明 6.7	白濁 6.5	白濁 6.5	白濁 6.5	沈殿 6.5	*：上室液(150mL)・下室液(350mL)を混合した後、必要量を本剤と配合	
139	ツインバル輸液	味の素 = 味の素ファルマ	アミノ酸・糖・電解質(2-3)	10mL*	10mg/10mL	無色澄明 6.7	白濁 析出物 6.7	白濁 析出物 6.7	白濁 析出物 6.7	白濁 析出物 6.6	*：I層液(350mL)・II層液(150mL)を混合した後、必要量を本剤と配合	
139	ツインバル輸液	味の素 = 味の素ファルマ	アミノ酸・糖・電解質(2-3)	40mL*	10mg/10mL	無色澄明 6.7	白濁 析出物 6.8	白濁 析出物 6.8	白濁 析出物 6.7	白濁 析出物 6.7	*：I層液(350mL)・II層液(150mL)を混合した後、必要量を本剤と配合	
139	ツインバル輸液	味の素 = 味の素ファルマ	アミノ酸・糖・電解質(2-3)	1000mL*	10mg/10mL	無色澄明 6.7	無色澄明 6.8	無色澄明 6.7	無色澄明 6.7	無色澄明 6.6	*：I層液(700mL)・II層液(300mL)を混合した後、本剤と配合	
							100.0	99.5	100.0	99.5		
140	ピーエヌツイン-1号	森下ルセル	アミノ酸・糖・電解質(3-1)	40mL*	10mg/10mL	無色澄明 5.0	淡黄色澄明 5.0	淡黄色澄明 5.0	淡黄色澄明 5.0	淡黄色澄明 5.0	*：I層液(800mL)・II層液(200mL)を混合した後、必要量を本剤と配合	
							100.0	100.0	100.1	98.5		
140	ピーエヌツイン-1号	味の素ファルマ	アミノ酸・糖・電解質(3-1)	10mL*	10mg/10mL	無色澄明 5.0	微黄色澄明 5.1	微黄色澄明 5.0	微黄色澄明 5.0	微黄色澄明 5.1	*：I層液(800mL)・II層液(200mL)を混合した後、必要量を本剤と配合	
							100.0	100.9	100.3	101.3		

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の/(溶解), +(希釈)の右側に記載の略号: D.W.は注射用水, Sal.は生理食塩液, Gul.はブドウ糖注射液, Sol.は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 <本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率					備考
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間	24時間	
141	ピーエヌツインー2号	森下ルセル	アミノ酸・糖・電解質(3-2)	40mL*	10mg/10mL	無色澄明	淡黄色澄明	淡黄色澄明	淡黄色澄明	淡黄色澄明	*：I層液(800mL)・II層液(300mL)を混合した後、必要量を本剤と配合
						5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	
						100.0	100.1	100.1	98.3		
141	ピーエヌツインー2号	味の素ファルマ	アミノ酸・糖・電解質(3-2)	10mL*	10mg/10mL	無色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	*：I層液(800mL)・II層液(300mL)を混合した後、必要量を本剤と配合
						5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	
						100.0	101.4	102.8	103.4		
142	ピーエヌツインー3号	森下ルセル	アミノ酸・糖・電解質(3-3)	40mL*	10mg/10mL	無色澄明	淡黄色澄明	淡黄色澄明	淡黄色澄明	淡黄色澄明	*：I層液(800mL)・II層液(400mL)を混合した後、必要量を本剤と配合
						5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	
						100.0	100.6	100.2	98.4		
142	ピーエヌツインー3号	味の素ファルマ	アミノ酸・糖・電解質(3-3)	10mL*	10mg/10mL	無色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	*：I層液(800mL)・II層液(400mL)を混合した後、必要量を本剤と配合
						5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	
						100.0	101.5	100.8	100.5		
143	ユニカリックL輸液	テルモ = 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質(4-1)	10mL	10mg/10mL	無色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	
						4.3	4.4	4.4	4.4	4.3	
						100.0	99.5	98.7	98.6		
143	ユニカリックL輸液	テルモ = 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質(4-1)	40mL	10mg/10mL	無色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	
						4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	
						100.0	99.5	99.4	97.8		
143	ユニカリックL輸液	テルモ = 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質(4-1)	1000mL	10mg/10mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	
						100.0	99.9	98.8	97.3		
144	ユニカリックN輸液	テルモ = 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質(4-2)	10mL	10mg/10mL	無色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	
						4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	
						100.0	99.2	98.6	98.4		
144	ユニカリックN輸液	テルモ = 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質(4-2)	40mL	10mg/10mL	無色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	
						4.3	4.4	4.4	4.4	4.3	
						100.0	99.8	99.3	98.0		
144	ユニカリックN輸液	テルモ = 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質(4-2)	1000mL	10mg/10mL	無色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	
						4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	
						100.0	99.8	99.2	97.3		

<325 たん白アミノ酸製剤>

[9T] その他の配合剤

145	フルカリック1号	テルモ = 田辺	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(1-1)	40mL*	10mg/10mL	黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	*：大室液(700mL)・中室液(200mL)・小室液(3mL)を混合した後、必要量を使用
						5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	
						100.0	97.7	95.1	86.2		
146	フルカリック2号	テルモ = 田辺	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(1-2)	40mL*	10mg/10mL	黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	*：大室液(700mL)・中室液(300mL)・小室液(3mL)を混合した後、必要量を使用
						5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	
						100.0	99.6	97.7	92.2		
147	フルカリック3号	テルモ = 田辺	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(1-3)	40mL*	10mg/10mL	黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	*：大室液(700mL)・中室液(400mL)・小室液(3mL)を混合した後、必要量を使用
						5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	
						100.0	102.1	102.1	98.2		
148	ネオパレン1号輸液	大塚工場 = 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-1)	40mL*	10mg/10mL	黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	*：上室液(300mL)・小室液(4mL)・下室液(696mL)を混合した後、必要量を本剤と配合
						5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	
						100.0	99.8	91.3	54.3		
148	ネオパレン1号輸液	大塚工場 = 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-1)	100mL*	10mg/10mL	黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	*：上室液(300mL)・小室液(4mL)・下室液(696mL)を混合した後、必要量を本剤と配合
						5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	
						100.0	99.4	97.1	67.4		
148	ネオパレン1号輸液	大塚工場 = 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-1)	1000mL*	10mg/10mL	黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	*：上室液(300mL)・小室液(4mL)・下室液(696mL)を混合した後、本剤と配合
						5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	
						100.0	99.9	98.3	88.6		
149	ネオパレン2号輸液	大塚工場 = 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-2)	40mL*	10mg/10mL	黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	*：上室液(300mL)・小室液(4mL)・下室液(696mL)を混合した後、必要量を本剤と配合
						5.4	5.4	5.4	5.4	5.4	
						100.0	99.4	92.5	62.0		
149	ネオパレン2号輸液	大塚工場 = 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-2)	100mL*	10mg/10mL	黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	*：上室液(300mL)・小室液(4mL)・下室液(696mL)を混合した後、必要量を本剤と配合
						5.4	5.4	5.4	5.4	5.4	
						100.0	99.0	97.3	75.7		
149	ネオパレン2号輸液	大塚工場 = 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-2)	1000mL*	10mg/10mL	黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	*：上室液(300mL)・小室液(4mL)・下室液(696mL)を混合した後、本剤と配合
						5.4	5.4	5.4	5.4	5.4	
						100.0	99.9	100.0	92.1		

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の/(溶解), +(希釈)の右側に記載の略号：D.W.は注射用水, Sal.は生理食塩液, Gul.はブドウ糖注射液, Sol.は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 <本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率					備考
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間	24時間	
150	エルネオパ1号輸液	大塚工場 = 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-3)	10mL*	10mg/10mL	黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	*：上室(692mL)・小室V(4mL)・小室T(4mL)・下室(300mL)を混合した後、必要量を本剤と配合
						5.1	5.2	5.2	5.2	5.2	
							100.0	96.1	85.0	62.4	
150	エルネオパ1号輸液	大塚工場 = 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-3)	40mL*	10mg/10mL	黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	*：上室(692mL)・小室V(4mL)・小室T(4mL)・下室(300mL)を混合した後、必要量を本剤と配合
						5.1	5.2	5.2	5.2	5.2	
							100.0	96.7	81.0	48.0	
150	エルネオパ1号輸液	大塚工場 = 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-3)	100mL*	10mg/10mL	黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	*：上室(692mL)・小室V(4mL)・小室T(4mL)・下室(300mL)を混合した後、必要量を本剤と配合
						5.1	5.1	5.2	5.1	5.1	
							100.0	98.0	94.0	68.3	
150	エルネオパ1号輸液	大塚工場 = 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-3)	1,000mL*	10mg/10mL	黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	*：上室(692mL)・小室V(4mL)・小室T(4mL)・下室(300mL)を混合した後、本剤と配合
						5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	
							100.0	98.6	96.0	89.1	
151	エルネオパ2号輸液	大塚工場 = 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-4)	10mL*	10mg/10mL	黄色澄明	白濁	白濁	白濁	白濁	*：上室(692mL)・小室V(4mL)・小室T(4mL)・下室(300mL)を混合した後、必要量を本剤と配合
						5.3	5.4	5.4	5.4	5.3	
151	エルネオパ2号輸液	大塚工場 = 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-4)	40mL*	10mg/10mL	黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	*：上室(692mL)・小室V(4mL)・小室T(4mL)・下室(300mL)を混合した後、必要量を本剤と配合
						5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	
							100.0	98.5	91.6	64.1	
151	エルネオパ2号輸液	大塚工場 = 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-4)	100mL*	10mg/10mL	黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	*：上室(692mL)・小室V(4mL)・小室T(4mL)・下室(300mL)を混合した後、必要量を本剤と配合
						5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	
							100.0	98.5	96.8	83.9	
151	エルネオパ2号輸液	大塚工場 = 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-4)	1,000mL*	10mg/10mL	黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	*：上室(692mL)・小室V(4mL)・小室T(4mL)・下室(300mL)を混合した後、本剤と配合
						5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	
							100.0	99.7	98.5	93.9	
152	アミグランド輸液	テルモ = 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(3)	40mL*	10mg/10mL	無色澄明	白濁	白濁	白濁	微黄色の沈殿	*：大室液(350mL)・小室液(150mL)を混合した後、必要量を本剤と配合
						6.8	6.8	6.7	6.7	6.6	
152	アミグランド輸液	テルモ = 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(3)	100mL*	10mg/10mL	無色澄明	白濁	白濁	白濁	微黄色の沈殿	*：大室液(350mL)・小室液(150mL)を混合した後、必要量を本剤と配合
						6.8	6.7	6.7	6.7	6.6	
152	アミグランド輸液	テルモ = 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(3)	1000mL*	10mg/10mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	白色の不溶物	白色の不溶物	*：大室液(700mL)・小室液(300mL)を混合した後、本剤と配合
						6.8	6.8	6.7	6.7	6.7	
							100.0	100.8			
152	アミグランド輸液	テルモ = 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(3)	500mL* (大室液のみ)	120mg/120mL (12管)	無色澄明	白濁	白濁	白濁	微黄色の沈殿	*：大室液(350mL)と本剤12管を配合した後、小室液(150mL)を配合
						6.8	6.8	6.7	6.7	6.7	
153	ビーフリード点滴静注用	大塚工場 = 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(4)	10mL*	10mg/10mL	無色澄明	淡黄色結晶	淡黄色結晶	淡黄色結晶	淡黄色結晶	*：上室液(150mL)・下室液(350mL)を混合した後、必要量を本剤と配合
						6.8	6.7	6.7	6.7	6.7	
153	ビーフリード点滴静注用	大塚工場 = 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(4)	100mL*	10mg/10mL	無色澄明	白濁	白濁	白濁	白濁	*：上室液(150mL)・下室液(350mL)を混合した後、必要量を本剤と配合
						6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	
154	ビーフリード輸液	大塚工場 = 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(4)	1000mL*	10mg/10mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	白色不溶物	白色不溶物	*：上室液(300mL)・下室液(700mL)を混合した後、本剤と配合
						6.8	6.8	6.7	6.7	6.7	
							100.0	98.1			

<326 臓器製剤>

[2] 肝臓製剤

155	アデラビン9号	三和化学	肝臓エキス・フラビンアデニンジヌクレオチド	2mL	10mg/10mL	黄色澄明	微濁	微濁	微濁	黄色澄明	
						5.9	5.2	5.1	5.2	5.2	
156	リバレス注	日医工	肝臓エキス・フラビンアデニンジヌクレオチド	1mL	10mg/10mL	黄色澄明	微濁, 析出物	微濁, 析出物	析出物	析出物	
						5.6	5.2	5.2	5.2	5.1	
							100.0	93.4	87.2	40.7	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の /(溶解), +(希釈)の右側に記載の略号：D.W.は注射用水, Sal.は生理食塩液, Gul.はブドウ糖注射液, Sol.は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 <本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率				備考
						配合剤	配合後			
							配合直後	3時間	6時間	

<331 血液代用剤>

[1] 生理食塩類

157	大塚食塩注10%	大塚工場 = 大塚製薬	塩化ナトリウム	10mL	10mg/10mL	無色澄明	微黄色澄明※	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	※：配合直後に析出物を認めたが3時間後には消失
						6.1	3.9	3.9	3.9	3.9	
158	大塚生食注	大塚工場	塩化ナトリウム（生理食塩液）	0.9% 100mL	24mg/24mL	無色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	
						5.8	4.3	4.3	4.3	4.3	
158	大塚生食注	大塚工場	塩化ナトリウム（生理食塩液）	0.9% 500mL	120mg/120mL (12管)	無色澄明	無色澄明	—	—	—	
						6.5	4.6	—	4.6	4.5	
158	大塚生食注	大塚工場	塩化ナトリウム（生理食塩液）	0.9% 20mL	1mg/1mL	無色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	
						6.5	4.6	—	4.6	4.5	
158	大塚生食注	大塚工場	塩化ナトリウム（生理食塩液）	0.9% 20mL	2mg/2mL	無色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	
						6.5	4.6	—	4.6	4.5	
158	大塚生食注	大塚工場	塩化ナトリウム（生理食塩液）	0.9% 20mL	3mg/3mL	無色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	
						6.5	4.6	—	4.6	4.5	
159	生食液「小林」	小林薬工	塩化ナトリウム（生理食塩液）	0.9% 20mL	10mg/10mL	無色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	
						6.1	4.1	4.1	4.1	4.1	

<331 血液代用剤>

[9J] 塩化ナトリウム・ブドウ糖剤

160	ソリターT1号	清水	開始液(1)／塩化ナトリウム・ブドウ糖剤	500mL	120mg/120mL (12管)	無色～微黄色澄明	無色～微黄色澄明	—	—		
						5.1	5.0	5.0	5.0		
160	ソリターT1号	清水 - 味の素ファルマ	開始液(1)／塩化ナトリウム・ブドウ糖剤	10mL	10mg/10mL	無色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	
						5.1	5.0	5.0	5.0	5.0	
161	ソルデム1輸液	テルモ	開始液(1)／塩化ナトリウム・ブドウ糖剤	10mL	10mg/10mL	無色澄明	僅かに結晶析出	僅かに結晶析出	僅かに結晶析出	僅かに結晶析出	
						6.1	5.4	5.4	5.4	5.4	
161	ソルデム1輸液	テルモ	開始液(1)／塩化ナトリウム・ブドウ糖剤	40mL	10mg/10mL	無色澄明	僅かに結晶析出	僅かに結晶析出	僅かに結晶析出	僅かに結晶析出	
						6.1	5.8	5.8	5.8	5.8	
161	ソルデム1輸液	テルモ	開始液(1)／塩化ナトリウム・ブドウ糖剤	1000mL	10mg/10mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	
162	KN補液1A	大塚工場	開始液(2)／塩化ナトリウム・ブドウ糖剤	500mL	120mg/120mL (12管)	無色～微黄色澄明	無色～微黄色澄明	—	—		
						4.6	4.5	—	4.4		4.3
162	KN補液1A	大塚工場	開始液(2)／塩化ナトリウム・ブドウ糖剤	10mL	10mg/10mL	無色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	
						4.8	3.9	3.9	3.8	3.8	

<331 血液代用剤>

[9K] ブドウ糖・デキストラン剤

163	低分子デキストラン糖注	大塚工場 = 大塚製薬	デキストラン40・ブドウ糖	30mL	30mg/30mL	無色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	
						3.8	3.6	3.6	3.6	3.6	
163	低分子デキストラン糖注	大塚工場 = 大塚製薬	デキストラン40・ブドウ糖	80mL	20mg/20mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						3.8	3.7	3.7	3.7	3.7	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号: D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 <本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率				備考	
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間		24時間
<331 血液代用剤>						[9L] 乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤					
164	ソリターT3号	清水	維持液(3)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	500mL	120mg/120mL (12管)	無色～微黄色澄明 5.1	無色～微黄色澄明 5.1	— 100.0	— 103.0	— 103.3	
164	ソリターT3号	清水 - 味の素 ファルマ	維持液(3)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	10mL	10mg/10mL	無色澄明 5.1	微黄色澄明 5.0	微黄色澄明 5.0	微黄色澄明 5.0	微黄色澄明 5.0	
165	ソルデム3A	テルモ	維持液(3)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	40mL	10mg/10mL	無色澄明 6.0	黄色沈澱物 5.8	黄色沈澱物 5.7	黄色沈澱物 5.6	黄色沈澱物 5.7	
166	ソルデム3A輸液	テルモ	維持液(3)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	100mL	10mg/10mL	無色澄明 5.8	無色澄明 5.7	無色澄明 5.7	無色澄明 5.7	無色澄明 5.7	
166	ソルデム3A輸液	テルモ	維持液(3)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	1000mL	10mg/10mL	無色澄明 5.8	無色澄明 5.8	無色澄明 5.8	無色澄明 5.8	無色澄明 5.8	
167	ソリターT3号G	清水	維持液(4)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	500mL	120mg/120mL (12管)	無色～微黄色澄明 5.0	無色～微黄色澄明 5.0	— 100.0	— 101.2	— 101.4	
167	ソリターT3号G	清水 - 味の素 ファルマ	維持液(4)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	10mL	10mg/10mL	無色澄明 5.1	微黄色澄明 5.0	微黄色澄明 5.1	微黄色澄明 5.1	微黄色澄明 5.0	
168	ソルデム3AG	テルモ	維持液(4)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	40mL	10mg/10mL	無色澄明 5.9	黄色沈澱物 5.6	黄色沈澱物 5.7	黄色沈澱物 5.6	黄色沈澱物 5.6	
169	ソルデム3AG輸液	テルモ	維持液(4)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	200mL	20mg/20mL	無色澄明 5.6	無色澄明 5.5	壁面に黄色付着物 5.5	壁面に黄色付着物 5.5	壁面に黄色付着物 5.5	
169	ソルデム3AG輸液	テルモ	維持液(4)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	1000mL	10mg/10mL	無色澄明 5.6	無色澄明 5.5	無色澄明 5.5	無色澄明 5.5	無色澄明 5.5	
170	KN補液3B	大塚工場	維持液(6)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	500mL	120mg/120mL (12管)	無色～微黄色澄明 5.7	無色～微黄色澄明 5.7	— 100.0	— 93.0	— 102.2	
170	KN補液3B	大塚工場	維持液(6)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	10mL	10mg/10mL	無色澄明 5.4	微黄色澄明 5.2	微黄色澄明 5.2	微黄色澄明 5.2	微黄色澄明 5.2	
171	フィジオゾール・3号	ミドリ十字	維持液(9)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	500mL	120mg/120mL (12管)	無色～微黄色澄明 4.5	無色～微黄色澄明 4.5	— 100.0	— 102.0	— 100.4	
171	フィジオゾール・3号	大塚工場	維持液(9)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	10mL	10mg/10mL	無色澄明 4.6	微黄色澄明 4.6	微黄色澄明 4.6	微黄色澄明 4.6	微黄色澄明 4.6	
172	EL-3号	森下	維持液(12)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	500mL	120mg/120mL (12管)	無色澄明 5.7	無色澄明 5.5	— 100.0	— 101.5	— 100.5	
172	EL-3号	味の素ファルマ	維持液(12)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	10mL	10mg/10mL	無色澄明 5.5	微黄色澄明 5.4	微黄色澄明 5.4	微黄色澄明 5.4	微黄色澄明 5.4	
173	KNMG3号輸液	大塚工場 = 大塚製薬	維持液(16)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	10mL	10mg/10mL	無色澄明 4.9	微黄色澄明 4.9	微黄色澄明 4.9	微黄色澄明 4.9	微黄色澄明 4.9	
173	KNMG3号輸液	大塚工場 = 大塚製薬	維持液(16)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	40mL	10mg/10mL	無色澄明 4.9	微黄色澄明 4.9	微黄色澄明 4.9	微黄色澄明 4.9	微黄色澄明 4.9	
173	KNMG3号輸液	大塚工場 = 大塚製薬	維持液(16)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	1000mL	10mg/10mL	無色澄明 4.9	無色澄明 4.9	無色澄明 4.9	無色澄明 4.9	無色澄明 4.9	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号: D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 <本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率					備考
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間	24時間	
174	ソルデム3PG輸液	テルモ	維持液(17)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	80mL	20mg/20mL	無色澄明	壁面に黄色付着物	壁面に黄色付着物	壁面に黄色付着物	壁面に黄色付着物	
						5.7	5.7	5.7	5.7	5.7	
174	ソルデム3PG輸液	テルモ	維持液(17)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	200mL	20mg/20mL	無色澄明	壁面に黄色付着物	壁面に黄色付着物	壁面に黄色付着物	壁面に黄色付着物	
						5.7	5.7	5.7	5.7	5.7	
174	ソルデム3PG輸液	テルモ	維持液(17)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	1000mL	10mg/10mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						5.7	5.7	5.7	5.7	5.7	
							100.0	99.5	99.5	99.3	
175	10%EL-3号	森下	維持液(17)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	500mL	120mg/120mL (12管)	無色澄明	無色澄明				
						5.6	5.4		5.5	5.5	
							100.0		102.1	101.0	
175	10%EL-3号	味の素ファルマ	維持液(17)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	10mL	10mg/10mL	無色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	
						5.4	5.4	5.4	5.4	5.4	
							100.0	100.0	99.6	98.1	
176	ソルデム6輸液	テルモ	術後回復液(1)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	80mL	20mg/20mL	無色澄明	壁面に黄色付着物	壁面に黄色付着物	壁面に黄色付着物	壁面に黄色付着物	
						5.9	5.5	5.5	5.6	5.6	
176	ソルデム6輸液	テルモ	術後回復液(1)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	200mL	20mg/20mL	無色澄明	壁面に黄色付着物	壁面に黄色付着物	壁面に黄色付着物	壁面に黄色付着物	
						5.9	5.7	5.7	5.7	5.7	
176	ソルデム6輸液	テルモ	術後回復液(1)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	1000mL	10mg/10mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	
							100.0	98.9	99.1	99.0	
177	KN補液4A	大塚工場	術後回復液(1)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	500mL	120mg/120mL (12管)	無色～微黄色澄明	無色～微黄色澄明				
						5.4	5.5		5.3	5.3	
							100.0		100.5	100.1	
177	KN補液4A	大塚工場	術後回復液(1)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	10mL	10mg/10mL	無色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	
						5.4	5.0	5.0	5.0	5.1	
							100.0	100.9	101.9	102.0	
178	ソリターT4号	清水	術後回復液(2)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	500mL	120mg/120mL (12管)	無色～微黄色澄明	無色～微黄色澄明				
						4.9	4.9		5.0	5.0	
							100.0		101.2	101.5	
178	ソリターT4号	清水 - 味の素 ファルマ	術後回復液(2)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	10mL	10mg/10mL	無色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	
						5.1	4.9	5.0	4.9	4.9	
							100.0	100.2	100.8	99.7	
179	ソルデム2輸液	テルモ	脱水補給液(1)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	80mL	20mg/20mL	無色澄明	白濁*	白濁*	白濁*	沈殿*	*: 壁面に黄色付着物あり
						6.1	5.9	5.9	5.9	5.9	
179	ソルデム2輸液	テルモ	脱水補給液(1)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	200mL	20mg/20mL	無色澄明	壁面に黄色付着物	壁面に黄色付着物	壁面に黄色付着物	壁面に黄色付着物	
						6.1	6.0	6.0	6.0	6.0	
179	ソルデム2輸液	テルモ	脱水補給液(1)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	1000mL	10mg/10mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	
							100.0	98.5	98.4	100.4	
180	KN補液2A	大塚工場	脱水補給液(2)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	500mL	120mg/120mL (12管)	無色～微黄色澄明	無色～微黄色澄明				
						4.7	4.8		4.7	4.6	
							100.0		101.1	101.1	
180	KN補液2A	大塚工場	脱水補給液(2)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	10mL	10mg/10mL	無色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	
						4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	
							100.0	102.1	100.8	101.7	
181	ソリターT2号	清水	脱水補給液(4)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	500mL	120mg/120mL (12管)	無色～微黄色澄明	無色～微黄色澄明				
						4.8	4.9		4.8	4.8	
							100.0		101.6	100.2	
181	ソリターT2号	清水 - 味の素 ファルマ	脱水補給液(4)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	10mL	10mg/10mL	無色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	
						5.0	4.9	4.9	4.9	4.9	
							100.0	99.0	98.8	99.5	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号: D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 <本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率				備考	
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間		24時間
<331 血液代用剤>						[9M] リンゲル製剤					
182	ヴィーンF注	日研	酢酸リンゲル液	700mL	10mg/10mL + Sal. 10mL	無色澄明 6.9	壁面に黄色付着物 6.9	壁面に黄色付着物 6.9	壁面に黄色付着物 6.9	壁面に黄色付着物 6.9	
182	ヴィーンF注	日研	酢酸リンゲル液	40mL	10mg/10mL	無色澄明 7.0	白濁	6.3			
182	ヴィーンF注	日研	酢酸リンゲル液	500mL	120mg/120mL	無色澄明 6.9	白濁,析出物 6.3	白濁,析出物 6.3	白濁,析出物 6.4	白濁,析出物 6.4	
183	ソルアセトF輸液	テルモ	酢酸リンゲル液	10mL	10mg/10mL	無色澄明 6.8	微黄色白濁 析出物 5.9	微黄色白濁 析出物 5.9	微黄色白濁 析出物 5.9	微黄色澄明 析出物,沈殿 5.8	
183	ソルアセトF輸液	テルモ	酢酸リンゲル液	40mL	10mg/10mL	無色澄明 6.8	白濁 析出物 6.3	白濁 析出物 6.3	白濁 析出物 6.3	無色澄明 析出物,沈殿 6.3	
183	ソルアセトF輸液	テルモ	酢酸リンゲル液	1000mL	10mg/10mL	無色澄明 6.8	僅かに結晶析出※ 6.8	無色澄明 6.8	無色澄明 6.8	無色澄明 6.8	※：ガラス壁面に結晶付着するが3時間後には消失
184	ヴィーンD注	日研	酢酸リンゲル液（ブドウ糖 加）	500mL	120mg/120mL (12管)	無色～微黄色澄明 5.4	無色～微黄色澄明 5.3	100.0	96.3	97.1	97.9
184	ヴィーンD注	日研	酢酸リンゲル液（ブドウ糖 加）	10mL	10mg/10mL	無色澄明 5.5	沈殿 5.4	沈殿 5.4	沈殿 5.4	沈殿 5.4	
185	リナセート	味の素ファルマ	酢酸リンゲル液（ブドウ糖 加）	500mL	10mg/10mL	無色澄明 5.3	無色澄明 5.3	無色澄明 5.3	無色澄明 5.4	無色澄明 5.3	
185	リナセート	味の素ファルマ	酢酸リンゲル液（ブドウ糖 加）	10mL	10mg/10mL	無色澄明 5.4	微黄色澄明 5.4	沈殿 5.4	沈殿 5.4	沈殿 5.4	
186	フィジオ140	大塚工場	酢酸リンゲル液（ブドウ糖 加）(2-2)	40mL	10mg/10mL	無色澄明 6.1	白濁 5.9	白濁 6.0	白濁 6.0	沈殿 6.0	
187	フィジオ140輸液	大塚工場 = 大塚 製薬	酢酸リンゲル液（ブドウ糖 加）(2-2)	100mL	10mg/10mL	無色澄明 6.0	無色澄明 6.0	無色澄明 6.0	黄色の不溶物 6.0	黄色の不溶物 6.0	
187	フィジオ140輸液	大塚工場 = 大塚 製薬	酢酸リンゲル液（ブドウ糖 加）(2-2)	1000mL	10mg/10mL	無色澄明 6.0	無色澄明 6.1	無色澄明 6.1	無色澄明 6.1	無色澄明 6.1	
188	ピカーボン注	味の素 = 味の素 ファルマ	重炭酸リンゲル液(1)	40mL	10mg/10mL	無色澄明 7.2	白濁 7.3	白濁 7.5	白濁 7.8	白色沈殿 8.0	
189	ピカナイト輸液	大塚工場 = 大塚 製薬	重炭酸リンゲル液(2)	80mL	20mg/20mL	無色澄明 7.3	白濁* 7.4	白濁* 7.7	白濁* 7.8	白濁* 8.0	*: 壁面に黄色付着物あり
189	ピカナイト輸液	大塚工場 = 大塚 製薬	重炭酸リンゲル液(2)	200mL	20mg/20mL	無色澄明 7.3	白濁* 7.3	白濁* 7.5	白濁* 7.6	白濁* 7.9	*: 壁面に黄色付着物あり
189	ピカナイト輸液	大塚工場 = 大塚 製薬	重炭酸リンゲル液(2)	1000mL	10mg/10mL	無色澄明 7.3	白濁* 7.5	白濁* 7.6	白濁* 7.7	白濁* 8.1	*: 壁面に黄色付着物あり
190	ラクトリンゲル液“フ ソー”	扶桑	乳酸リンゲル液	500mL	120mg/120mL (12管)	無色澄明 6.1	無色澄明 6.0	100.0	—	5.9	5.8
190	ラクトリンゲル液“フ ソー”	扶桑	乳酸リンゲル液	10mL	10mg/10mL	無色澄明 6.0	微黄色澄明 5.4	沈殿 5.4	沈殿 5.4	沈殿 5.4	102.9

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号: D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 <本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0～4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率					備考
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間	24時間	
191	ソルラクト	テルモ	乳酸リンゲル液	500mL	10mg/10mL	無色澄明 6.5	壁面に黄色付着物 6.4	壁面に黄色付着物 6.4	壁面に黄色付着物 6.4	壁面に黄色付着物 6.4	
191	ソルラクト	テルモ	乳酸リンゲル液	40mL	10mg/10mL	無色澄明 6.5	白濁 5.9	白濁 5.9	白濁 5.9	白濁 5.9	
192	ラクテック注	大塚工場	乳酸リンゲル液	500mL	120mg/120mL (12管)	無色澄明 6.4	++※ 6.0		++ 5.9	+油膜 5.9	※：配合直後より混濁
193	ハルトマン液-ミドリ	菱山 - ミドリ十 字	乳酸リンゲル液	40mL	10mg/10mL	無色澄明 6.7	白濁 5.9	白濁 5.9	白濁 5.9	白濁 6.0	
194	ハルトマン液 pH:8-ミドリ	ミドリ十字	乳酸リンゲル液	500mL	120mg/120mL (12管)	無色～微黄色澄明 7.3	+++※ 6.1		+++ 6.1	++ 6.0	※：配合直後より混濁
195	ラクトリンゲルS注「フ ソー」	扶桑	乳酸リンゲル液（ソルビトール加）	500mL	120mg/120mL (12管)	無色澄明 6.2	無色澄明 5.9		— 5.9	— 5.9	
195	ラクトリンゲルS注「フ ソー」	扶桑	乳酸リンゲル液（ソルビトール加）	10mL	10mg/10mL	無色澄明 6.0	微黄色澄明 5.4	沈殿 5.4	沈殿 5.4	沈殿 5.4	
196	ラクテックG注	大塚工場	乳酸リンゲル液（ソルビトール加）	500mL	120mg/120mL (12管)	無色～微黄色澄明 6.6	++※ 5.9		++ 5.9	+油膜 5.9	※：配合直後より混濁
197	ソルラクトD	テルモ	乳酸リンゲル液（ブドウ糖加）	500mL	10mg/10mL	無色澄明 5.9	無色澄明 5.9	無色澄明 5.9	無色澄明 5.9	無色澄明 5.9	
197	ソルラクトD	テルモ	乳酸リンゲル液（ブドウ糖加）	40mL	10mg/10mL	無色澄明 5.9	壁面に黄色付着物※ 5.7	壁面に黄色付着物 5.7	壁面に黄色付着物 5.7	壁面に黄色付着物 5.7	※配合直後に白濁するが、攪拌するとすぐに黄色物質が壁面に付着
198	ハルトマンD液「小林」	小林薬工	乳酸リンゲル液（ブドウ糖加）	40mL	10mg/10mL	無色澄明 4.6	微黄色澄明 4.6	微黄色澄明 4.6	微黄色澄明 4.6	微黄色澄明 4.6	
199	ラクテックD注	大塚工場	乳酸リンゲル液（ブドウ糖加）	500mL	120mg/120mL (12管)	無色～微黄色澄明 4.9	無色～微黄色澄明 4.8		— 4.8	— 4.9	
199	ラクテックD注	大塚工場	乳酸リンゲル液（ブドウ糖加）	10mL	10mg/10mL	無色澄明 4.9	微黄色澄明 4.9	微黄色澄明 4.9	微黄色澄明 4.9	微黄色澄明 4.9	
200	ソルラクトTMR	テルモ	乳酸リンゲル液（マルトース加）	500mL	10mg/10mL	無色澄明 6.0	無色澄明 6.0	無色澄明 5.9	無色澄明 5.9	無色澄明 5.9	
200	ソルラクトTMR	テルモ	乳酸リンゲル液（マルトース加）	40mL	10mg/10mL	無色澄明 6.0	壁面に黄色付着物※ 5.7	壁面に黄色付着物 5.7	壁面に黄色付着物 5.7	壁面に黄色付着物 5.7	※配合直後に白濁するが、攪拌するとすぐに黄色物質が壁面に付着
201	ポタコールR	大塚工場	乳酸リンゲル液（マルトース加）	500mL	120mg/120mL (12管)	無色澄明 4.8	無色澄明 4.8		— 4.8	— 4.8	
201	ポタコールR	大塚工場	乳酸リンゲル液（マルトース加）	10mL	10mg/10mL	無色澄明 4.9	微黄色澄明 4.9	微黄色澄明 4.9	微黄色澄明 4.9	微黄色澄明 4.9	
202	リンゲル液「オーツカ」	大塚工場 = 大塚製薬	リンゲル液	30mL	30mg/30mL	無色澄明 6.3	微黄色澄明 3.9	微黄色澄明 3.9	微黄色澄明 3.9	微黄色澄明 3.9	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号: D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 <本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率					備考
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間	24時間	
<331 血液代用剤>						[9T] その他の配合剤					
203	クリニザルツB	小林薬工 - エーザイ	維持液（キシリトール加）／血液代用剤	500mL	120mg/120mL（12管）	無色澄明 5.8	無色澄明 5.8	—	—	—	
203	クリニザルツB	小林薬工	維持液（キシリトール加）／血液代用剤	10mL	10mg/10mL	無色澄明 5.7	白濁 5.5	白濁 5.5	白濁 5.5	沈殿 5.6	
204	トリフリード	大塚工場	維持液（複合糖加）／血液代用液	40mL	10mg/10mL	無色澄明 4.9	微黄色澄明 4.9	微黄色澄明 4.9	微黄色澄明 4.9	微黄色澄明 4.9	
205	フィジオ35	大塚工場 = 大塚製薬	維持液（ブドウ糖加）(2)／血液代用剤	10mL	10mg/10mL	無色澄明 6.7	微黄色澄明※ 5.1	微黄色澄明 5.1	微黄色澄明 5.1	微黄色澄明 5.1	※：配合直後に僅かに結晶析出するが、振り混ぜると消失
205	フィジオ35	大塚工場 = 大塚製薬	維持液（ブドウ糖加）(2)／血液代用剤	40mL	10mg/10mL	無色澄明 6.7	微黄色澄明※ 5.1	微黄色澄明 5.1	微黄色澄明 5.1	微黄色澄明 5.1	※：配合直後に僅かに結晶析出するが、振り混ぜると消失
205	フィジオ35	大塚工場 = 大塚製薬	維持液（ブドウ糖加）(2)／血液代用剤	1000mL	10mg/10mL	無色澄明 6.7	無色澄明 5.0	無色澄明 5.0	無色澄明 5.0	無色澄明 5.0	
206	ヴィーン3G注	興和 = 興和創薬	酢酸維持液（ブドウ糖加）／血液代用剤	10mL	10mg/10mL	無色澄明 5.4	僅かに結晶析出 5.4	僅かに結晶析出 5.4	僅かに結晶析出 5.4	僅かに結晶析出 5.4	
206	ヴィーン3G注	興和 = 興和創薬	酢酸維持液（ブドウ糖加）／血液代用剤	40mL	10mg/10mL	無色澄明 5.4	微黄色澄明 5.4	微黄色澄明 5.4	微黄色澄明 5.4	微黄色澄明 5.4	
206	ヴィーン3G注	興和 = 興和創薬	酢酸維持液（ブドウ糖加）／血液代用剤	1000mL	10mg/10mL	無色澄明 5.4	無色澄明 5.4	無色澄明 5.4	無色澄明 5.4	無色澄明 5.4	
207	アクチット注	日研	酢酸維持液(1)／血液代用剤	500mL	120mg/120mL（12管）	無色～微黄色澄明 5.4	無色～微黄色澄明 5.4	—	—	—	
207	アクチット注	日研	酢酸維持液(1)／血液代用剤	10mL	10mg/10mL	無色澄明 5.4	微黄色澄明 5.3	微黄色澄明 5.3	微黄色澄明 5.3	微黄色澄明 5.4	
208	ソルマルト	テルモ	酢酸維持液(1)／血液代用剤	500mL	120mg/120mL	無色澄明 5.8	析出物 5.8	析出物 5.7	析出物 5.8	析出物 5.8	
209	ヘスパンダー	杏林	ヒドロキシエチルデンプン配合剤／血液代用剤	10mL	10mg/10mL	無色澄明 5.9	微黄色澄明 5.3	微黄色澄明 5.3	微黄色澄明 5.3	微黄色澄明 5.3	

<332 止血剤>

[1] カルバゾクロム系製剤

210	アドナ (AC-17) 注射液 (静脈用)★	田辺	カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム水和物	50mg/10mL	10mg/10mL	橙色澄明 5.9	橙色微濁 5.6				遮光保存
-----	------------------------	----	----------------------	-----------	-----------	-------------	-------------	--	--	--	------

<332 止血剤>

[7] 抗プラスミン剤

211	トランサミンS注	第一製薬	トラネキサム酸	1g/10mL	10mg/10mL	無色澄明 7.6	白濁 6.6	白濁 6.6	白濁 6.6	沈殿 6.6	
212	リカバリン注S	旭化成	トラネキサム酸	1g/10mL	10mg/10mL	無色澄明 7.6	白濁 6.9	白濁 6.9	白濁 6.9	白濁 6.9	

<332 止血剤>

[9i] その他

213	ノボ・硫酸プロタミン	日本HMR	プロタミン硫酸塩	100mg/10mL	10mg/10mL	無色澄明 6.2	微黄色澄明 4.3	微黄色澄明 4.4	微黄色澄明 4.4	微黄色澄明 4.3	
							100.0	100.1	100.2	100.1	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号 : D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 <本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率				備考	
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間		24時間
<333 血液凝固阻止剤>						[4] ヘパリン製剤					
214	フラグミン静注5000	ファイザー = キッセイ	ダルテパリンナトリウム	5千単位/5mL	10mg/10mL	無色澄明 6.5	白濁 析出物 5.3	白濁 析出物 5.3	白濁 析出物 5.3	白濁 析出物 5.2	
215	ヘパリンナトリウム注N「シミズ」	清水 - 武田	ヘパリンナトリウム	1万単位/10mL	10mg/10mL		白濁 5.3	白濁 5.3	白濁 5.3	白濁 5.3	
<391 肝臓疾患用剤>						[9L] グリチルリチン・グリシン・システイン剤					
216	強カネオミノファーゲンシー	ミノファーゲン	グリチルリチン・グリシン・システイン配合剤	20mL	10mg/10mL	無色澄明 6.4	白濁 6.3	白濁 6.3	白濁 6.3	白濁 6.3	
216	強カネオミノファーゲンシー	ミノファーゲン	グリチルリチン・グリシン・システイン配合剤	20mL	2mg/2mL	無色澄明 6.4	白濁 6.4				
<392 解毒剤>						[2] グルタチオン製剤					
217	タチオン注射用	山之内	グルタチオン	200mg /D.W. 3mL	10mg/10mL	5.8	+++※ 5.3	+++沈 5.4	+++沈 5.3	+沈 5.3	※：配合直後より混濁
<392 解毒剤>						[9i] その他					
218	メイロン	大塚工場	炭酸水素ナトリウム	7% 20mL	10mg/10mL	無色澄明 7.8	白濁 8.1				
<395 酵素製剤>						[4] ウロキナーゼ製剤					
219	ウロキナーゼ6万-Wf (販売中止)	ベネシス = 三菱ウエルファーマ	ウロキナーゼ	6万国際単位 /Sal. 10mL	10mg/10mL	無色澄明 7.0	白濁 6.9	白濁 6.9	白濁 6.9	白濁 6.9	販売中止
<395 酵素製剤>						[9i] その他					
220	グルトパ注600万	三菱化学 - 田辺製薬	アルテプラナーゼ (遺伝子組換え)	600万国際単位 /Sol. 10mL	10mg/10mL	無色澄明 7.4	白濁 7.4				
<399 他に分類されない代謝性医薬品>						[2] アデノシン製剤					
221	アデホスールコーワ注3号	興和	アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物	20mg/2mL	10mg/10mL	無色澄明 9.0	白濁 8.4				

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号: D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 <本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率				備考	
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間		24時間
<399 他に分類されない代謝性医薬品>						[9i] その他					
222	注射用カタクロット	小野	オザグレルナトリウム	20mg /Sal. 25mL	10mg/10mL	8.0	白濁 7.0				
222	注射用カタクロット	小野	オザグレルナトリウム	20mg /Sal. 125mL	10mg/10mL	7.8	白濁 7.0				
222	注射用カタクロット	小野	オザグレルナトリウム	20mg /5%GuI. 125mL	10mg/10mL	7.6	白濁 7.0				
223	キサンボン注射用40mg	キッセイ	オザグレルナトリウム	40mg /5%GuI. 20mL	10mg/10mL	無色澄明 8.0	白濁 7.0	白濁 7.0	白濁 7.0	沈殿 7.0	
224	注射用エフオーワイ	小野	ガベキサートメシル酸塩	100mg /D. W. 500mL	10mg/10mL	無色澄明 6.2	無色澄明 6.1	無色澄明 6.2	無色澄明 6.2	無色澄明 6.1	
225	レミナロン注射用500mg	高田 - 塩野義	ガベキサートメシル酸塩	500mg /5%GuI. 500mL	10mg/10mL	無色澄明 4.7	無色澄明 4.6	無色澄明 4.6	無色澄明 4.6	無色澄明 4.5	
226	サンディミュン注射液	ノバルティス	シクロスポリン	250mg/5mL	10mg/10mL	淡黄色の粘性の液 9.3	微黄色澄明 5.7	微黄色澄明 5.7	微黄色澄明 5.7	微黄色澄明 5.8	配合薬剤の添付文書に「併用注意」の記載あり
227	注射用エラスポール100	小野	シベレスタットナトリウム水 和物	100mg /Sal. 250mL	10mg/10mL	無色澄明 7.4	白濁 7.3	白濁 7.3	白濁 7.2	白濁 7.2	
228	プログラフ注射液5mg	アステラス	タクロリムス水和物	5mg/1mL	10mg/10mL +Sal. 90mL	無色澄明 5.4	無色澄明 4.6	無色澄明 4.6	無色澄明 4.6	無色澄明 4.6	
229	注射用フサン	鳥居	ナファモスタットメシル酸塩	10mg /5%GuI. 500mL	120mg/120mL	無色澄明 4.5	微黄色澄明 4.0	微黄色澄明 4.1	微黄色澄明 4.1	微黄色澄明 4.6	
							100.0	96.8	96.6	100.1	

<611 主としてグラム陽性菌に作用するもの>

[3] バンコマイシン製剤

230	塩酸バンコマイシン点滴静 注用0.5g	リリー - 塩野義	バンコマイシン塩酸塩	0.5g /Sal. 100mL	10mg/10mL	無色澄明 3.8	微黄色澄明 3.8	微黄色澄明 3.8	微黄色澄明 3.8	微黄色澄明 3.8	
							100.0	99.3	99.8	98.5	

<611 主としてグラム陽性菌に作用するもの>

[9i] その他

231	ハベカシン注射液	明治製菓	アルベカシン硫酸塩	100mg/2mL	10mg/10mL	無色澄明 6.6	白濁 6.1	白濁 6.1	白濁 6.1	白濁 6.1	
232	注射用タゴシッド	アベンティス	テイコプラニン	200mg /Sal. 100mL	10mg/10mL	無色澄明 7.3	微濁 6.9	微濁 6.9	微濁 6.9	微濁, 析出物 6.9	

<612 主としてグラム陰性菌に作用するもの>

[3] アミノ糖系抗生物質製剤

233	アミカマイシン注射液	明治製菓	アミカシン硫酸塩	200mg/2mL	10mg/10mL	無色澄明 7.2	白濁 6.9	白濁 6.9	白濁 6.9	白濁 6.9	
234	イセパシン注射液	シェリングプラ ウ	イセパマイシン硫酸塩	200mg/2mL	10mg/10mL	無色澄明 6.8	白濁 6.5	白濁, 析出物 6.5	白濁, 析出物 6.5	白濁, 析出物 6.5	
235	エクサシン注射液	旭化成	イセパマイシン硫酸塩	200mg/2mL	10mg/10mL	無色澄明 6.7	白濁, 析出物 6.4	白濁, 析出物 6.4	白濁, 析出物 6.4	白濁, 析出物 6.4	
236	イセパシン注射液400	シェリングプラ ウ	イセパマイシン硫酸塩	400mg/2mL	10mg/10mL	無色澄明 6.8	白濁, 析出物 6.5	白濁, 析出物 6.5	白濁, 析出物 6.5	白濁, 析出物 6.5	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号 : D. W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, GuI. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 <本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率				備考	
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間		24時間
<613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの>						[1] ペニシリン系抗生物質製剤					
237	注射用ピクシリン	明治製菓	アンピシリンナトリウム	1g /D. W. 3mL	10mg/10mL	無色澄明 9.6	白濁 9.2	白濁 8.7	白濁 8.5	白濁 8.2	
238	ペントシリン注射用2g	富山 = 三共	ピペラシリンナトリウム	2g /D. W. 8mL	10mg/10mL	無色澄明 5.9	微黄色澄明 5.6 100.0	微黄色澄明 5.4 100.4	微黄色澄明 5.4 101.1	微黄色澄明 5.2 99.5	
<613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの>						[2] セフェム系抗生物質製剤					
239	セファメジンα注射用	静岡フジサワ - 藤沢	セファゾリンナトリウム水和物	250mg /Sal. 100mL	10mg/10mL	無色澄明 5.7	微黄色澄明 4.9 100.0	微黄色澄明 5.0 99.7	微黄色澄明 5.1 100.7	微黄色澄明 5.3 101.0	
240	注射用マキシピーム1g	BMS = 明治製菓	セフェピム塩酸塩水和物	1g /Sal. 100mL	10mg/10mL	微黄色澄明 4.6	微黄色澄明 4.7 100.0	微黄色澄明 4.6 99.0	微黄色澄明 4.7 98.0	析出物 4.8 96.8	
241	ファーストシン静注用1g	武田	セフォゾプラン塩酸塩	1g /Sal. 20mL	10mg/10mL	淡黄色澄明 7.9	混濁, 析出物 8.0	混濁, 析出物 7.7	混濁, 析出物 7.5	混濁, 析出物 7.4	
242	パンスポリン静注用1g★	武田	セフォチアム塩酸塩	1g /5%GuI. 20mL	10mg/10mL	微黄色澄明 6.4	微黄色白濁 6.6				遮光保存
243	モダシン静注用	グラクソ = 田辺製薬	セフトジジム水和物	1g /D. W. 10mL	10mg/10mL	無色澄明 6.5	白濁 6.5	白濁 6.9	白濁 7.2	白濁 7.5	
244	ロセフィン静注用1g	中外	セフトリアキソンナトリウム水和物	1g/Sal. 100mL	10mg/10mL	無色澄明 6.5	微黄色澄明 6.4 100.0	結晶析出 6.4 -	結晶析出 6.4 -	結晶析出 6.5 -	
245	ケニセフ静注用1g	大鵬薬品	セフォジジムナトリウム	2g /Sal. 200mL	40mg/4mL +Sal. 36mL	微黄色澄明 6.2	微黄色澄明 6.1 100.0	微黄色澄明 6.1 101.6	微黄色澄明 6.1 100.2	微黄色澄明 6.0 99.2	
246	プロアクト静注用 (販売中止)	アベンティス - 塩野義	セフピロム硫酸塩	1g /Sal. 100mL	10mg/10mL	微黄色澄明 6.9	白濁 6.8	白濁, 析出物 6.9	白濁, 析出物 6.8	白濁, 析出物 6.8	販売中止
247	注射用メイセリン	明治製菓 = BMS	セフミノクスナトリウム水和物	1g /D. W. 10mL	10mg/10mL	無色澄明 5.3	微黄色澄明 5.0 100.0	微黄色澄明 4.8 99.0	微黄色澄明 4.7 98.3	微黄色澄明※ 4.4 94.9	※：黄色がわずかに濃くなる
248	セフメタゾン静注用1g	三共	セフメタゾールナトリウム	1g /D. W. 10mL	10mg/10mL	無色澄明 5.0	白濁 4.8	白濁 4.8	白濁 4.6	白濁 4.4	
<613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの>						[3] オキサセフェム系抗生物質					
249	フルマリン静注用1g	塩野義	フロモキセフナトリウム	1g /D. W. 10mL	10mg/10mL	無色澄明 4.8	白濁 4.7	白濁 5.2	白濁 5.3	白濁 5.5	
250	フルマリン静注用1g★	塩野義	フロモキセフナトリウム	1g /5%GuI. 4mL	10mg/10mL	微黄色澄明 5.0	白濁 4.8				遮光保存

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の /(溶解), +(希釈)の右側に記載の略号：D. W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, GuI. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 <本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率				備考	
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間		24時間
<613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの>						[4] アミノ糖系抗生物質製剤					
251	ゲンタシン注10	シェリングプラウ	ゲンタマイシン硫酸塩	10mg/1mL	10mg/10mL	無色澄明 5.3	微黄色澄明 4.1	微黄色澄明 4.2	微黄色澄明 4.1	微黄色澄明 4.1	
252	注射用パニマイシン	明治製菓	ジベカシン硫酸塩	100mg /D.W. 2mL	10mg/10mL	無色澄明 7.2	白濁 6.9	白濁 6.9	白濁 6.9	白濁 6.9	
<613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの>						[5] ホスホマイシン製剤					
253	ホロサイルス静注用 (販売中止)	高田 - 塩野義	ホスホマイシンナトリウム	1g /D.W. 20mL	10mg/10mL	無色澄明 7.6	白濁, 析出物 7.7	白濁, 析出物 7.7	白濁, 析出物 7.6	白濁, 析出物 7.7	販売中止
254	静注用ホスミンS★	明治製菓	ホスホマイシンナトリウム	2g /5%GuI. 20mL	10mg/10mL	無色澄明 7.3	僅微黄色白濁 7.3				遮光保存
255	ホスミンSキット2g (販売中止)	明治製菓	ホスホマイシンナトリウム	2g /D.W. 100mL	10mg/10mL	無色澄明 7.6	白濁 7.6	白濁, 析出物 7.5	白濁, 析出物 7.5	白濁, 析出物 7.6	販売中止
<613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの>						[9i] その他					
256	メロペン点滴用バイアル 0.5g	大日本住友	メロペネム水和物	0.5g/Sal. 100mL	10mg/10mL	無色澄明 7.9	白濁 7.8	白濁 7.9	白濁 7.8	僅微黄色白濁 7.8	
<613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの>						[9J] 配合剤					
257	チエナム点滴用★	万有	イミペネム(0.5g)・シラスタチン(0.5g)	0.5g /Sal. 100mL	10mg/10mL	僅微黄色澄明 7.3	白濁 7.2				遮光保存
258	ユナシン-S静注用0.75g	ファイザー	スルバクタムナトリウム(0.25g)・アンピシリンナトリウム(0.5g)	0.75g /Sal. 5mL	10mg/10mL	微黄色澄明 8.9	白濁, 析出物 8.6	白濁, 析出物 8.3	白濁, 析出物 8.3	白濁, 析出物 7.9	
259	スルペラゾン静注用0.5g	ファイザー	スルバクタムナトリウム(0.25g)・セフォペラゾンナトリウム(0.25g)	0.5g /D.W. 10mL	10mg/10mL	無色澄明 5.5	白濁 5.2	白濁 5.3	白濁 5.2	白濁 5.1	
261	ゾシン静注用4.5	大鵬薬品	タゾバクタム(0.5g)・ピペラシリン水和物(4g)	4.5g/Sal. 20mL	10mg/10mL	無色澄明 5.8	微黄色澄明 5.7	微黄色澄明 5.6	微黄色澄明 5.5	微黄色澄明 5.2	
260	カルベニン点滴用0.5g	三共	パニペネム(0.5g)・ベタミプロロン(0.5g)	0.5g /Sal. 100mL	10mg/10mL	淡黄色澄明 6.7	微濁, 析出物 6.5	析出物 6.3	析出物 6.2	析出物 5.7	
<617 主としてカビに作用するもの>						[9i] その他					
262	ファンガード点滴用75mg	アステラス	ミカファンギンナトリウム	75mg /Sal. 10mL	10mg/10mL	無色澄明 5.8	白濁 4.0	白濁 4.0	白濁 4.0	白濁 4.1	
262	ファンガード点滴用75mg	アステラス	ミカファンギンナトリウム	75mg /Sal. 10mL	10mg/10mL +Sal. 100mL	無色澄明 5.6	無色澄明 5.1	無色澄明 5.1	無色澄明 5.1	無色澄明 5.1	
262	ファンガード点滴用75mg	アステラス	ミカファンギンナトリウム	75mg /Sal. 10mL	10mg/10mL +Sal. 200mL	無色澄明 5.6	無色澄明 5.5	無色澄明 5.5	無色澄明 5.5	無色澄明 5.5	
262	ファンガード点滴用75mg	アステラス	ミカファンギンナトリウム	75mg /GuI. 10mL	10mg/10mL +5%GuI. 100mL	無色澄明 4.2	白濁※ 4.4	白濁 4.4	白濁 4.4	白色沈殿物 4.3	※：配合直後はいったん無色澄明の液となるが1分後に白濁
262	ファンガード点滴用75mg	アステラス	ミカファンギンナトリウム	75mg /GuI. 10mL	10mg/10mL +5%GuI. 200mL	無色澄明 4.3	白濁 4.4	白濁 4.4	白濁 4.4	白色沈殿物 4.4	
<634 血液製剤類>						[3] 血漿分画製剤					
263	献血ノンスロン	日本製薬 - 武田	乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	500単位 /D.W. 10mL	10mg/10mL	無色澄明 7.1	白濁 6.6	白濁, 析出物 6.6	白濁, 析出物 6.6	白濁, 析出物 6.6	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号 : D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, GuI. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 <本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率				備考	
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間		24時間
<641 抗原虫剤>						[9i] その他					
264	ベナンボックス300	アベンティス - 中外	ペンタミジンイセチオン酸塩	300mg /D.W. 3mL +Sal. 50mL	10mg/10mL	無色澄明 6.1	微黄色澄明 4.3	微黄色澄明 4.4	微黄色澄明 4.4	微黄色澄明 4.4	配合剤の添付文書に「生理食塩液・ブドウ糖注射液以外の注射液と混合または希釈して使用しないこと」と記載
<721 X線造影剤>						[9i] その他					
265	イオパミロン370★	シェーリング	イオパミドール	75.52% 20mL	10mg/10mL	無色澄明 7.3	白濁 7.1				遮光保存
266	オムニパーク300★	第一製薬	イオヘキソール	64.71% 20mL	10mg/10mL	僅微黄色澄明 7.0	白濁 6.9				遮光保存
267	オプトレイ350★	マリンクロット - 山之内	イオベルソール	74.1% 100mL	10mg/10mL	無色澄明 7.0	僅微黄色澄明※ 7.0	僅微黄色澄明 7.0	僅微黄色澄明 7.0	僅微黄色澄明 7.0	遮光保存 ※：配合直後に混濁するが振り混ぜると消失
<729 その他の診断用薬（体外診断用医薬品を除く。）>						[0i] その他					
268	レギチーン注射液★	チバガイギー	フェントラミンメシル酸塩	10mg/1mL	10mg/10mL	無色澄明 4.5	微黄色澄明 3.8	微黄色澄明 3.6	微黄色澄明 3.6	微黄色澄明 3.6	遮光保存
269	レギチーン注射液	チバガイギー - ノバルティス	フェントラミンメシル酸塩	10mg/1mL	10mg/10mL	無色澄明 4.3	微黄色澄明 3.6	微黄色澄明 3.5	微黄色澄明 3.5	微黄色澄明 3.5	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号 : D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液 10mg <単剤配合>

試験方法

[1] 配合方法

本剤と配合剤の配合方法は、表に示す「本剤の使用量」「配合剤の使用量」に示す比率にて配合した。

[2] 保存条件および試験項目

1) 保存条件

本剤と配合剤を配合した後、室温散光にて保存した（遮光保存した場合は製品名に★を付し、備考欄に遮光保存と記載）

2) 試験項目

外観： 配合直後、3時間、6時間、24時間後に 目視にて外観の変化を観察した。

pH： 配合直後、3時間、6時間、24時間後に 日局一般試験法 pH試験法 に準じてpHを測定した。

含量および残存率： 配合直後、3時間、6時間、24時間後に 配合溶液中のニカルジピン塩酸塩（本剤の薬効成分）含量を液体クロマトグラフ法により測定した。
更に測定含量に基づき、配合直後の含量を100%とした残存率を算定した。
ただし、配合後に外観変化が認められた場合、以後の定量を実施せず。

ペルジピン注射液2mg/25mgの配合変化データはありません。
ペルジピン注射液10mgの配合変化データをご参照ください。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 (多剤)

<本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

掲載番号	輸液名	配合剤名	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	外観／pH／残存率					備考	
								配合前	配合後					
									配合直後	3時間	6時間	24時間		
1	ペルジピン濃度0.01% 生理食塩液(10倍希釈)	アドナ注(静脈用) 50mg	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		25mg/25mL (2.5管)	微黄色澄明 3.5	黄色澄明 5.3	黄色澄明 5.5	黄色澄明 5.6	黄色澄明 5.4	遮光保存	
			大塚生食注	大塚工場	塩化ナトリウム	0.9% 225mL		無色澄明 5.9	配合方法： ペルジピン注射液10mg 2.5管(25mg/25mL)を大塚生食注225mLにて希釈した後、これにアドナ注(静脈用)50mg 1管(50mg/10mL)を配合した。					
			アドナ(AC-17)注射液(静脈用)	田辺	カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム水和物	50mg/10mL		橙色澄明 5.8						
1	ペルジピン濃度0.02% 生理食塩液(5倍希釈)	アドナ注(静脈用) 50mg	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		50mg/50mL (5管)	微黄色澄明 3.5	黄色澄明 5.1	黄色澄明 5.1	黄色澄明 5.1	黄色澄明 5.2	遮光保存	
			大塚生食注	大塚工場	塩化ナトリウム	0.9% 200mL		無色澄明 5.9	配合方法： ペルジピン注射液10mg 5管(50mg/50mL)を大塚生食注200mLにて希釈した後、これにアドナ注(静脈用)50mg 1管(50mg/10mL)を配合した。					
			アドナ(AC-17)注射液(静脈用)	田辺	カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム水和物	50mg/10mL		橙色澄明 5.8						
2	ペルジピン濃度0.01% 5%ブドウ糖注射液(10倍希釈)	アドナ注(静脈用) 50mg	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		25mg/25mL (2.5管)	微黄色澄明 3.5	黄色澄明 5.2	黄色澄明 5.2	黄色澄明 5.2	黄色澄明 5.2	遮光保存	
			グルノン-5%	扶桑	ブドウ糖	225mL		無色澄明 4.5	配合方法： ペルジピン注射液10mg 2.5管(25mg/25mL)をグルノン-5% 225mLにて希釈した後、これにアドナ注(静脈用)50mg 1管(50mg/10mL)を配合した。					
			アドナ(AC-17)注射液(静脈用)	田辺	カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム水和物	50mg/10mL		橙色澄明 5.8						
2	ペルジピン濃度0.02% 5%ブドウ糖注射液(5倍希釈)	アドナ注(静脈用) 50mg	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		50mg/50mL (5管)	微黄色澄明 3.5	黄色澄明 4.9	黄色澄明 4.9	黄色澄明 4.9	黄色澄明 4.9	遮光保存	
			グルノン-5%	扶桑	ブドウ糖	200mL		無色澄明 4.5	配合方法： ペルジピン注射液10mg 5管(50mg/50mL)をグルノン-5% 200mLにて希釈した後、これにアドナ注(静脈用)50mg 1管(50mg/10mL)を配合した。					
			アドナ(AC-17)注射液(静脈用)	田辺	カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム水和物	50mg/10mL		橙色澄明 5.8						

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号: D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 (多剤)

<本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

掲載番号	輸液名	配合剤名	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	外観／pH／残存率				備考	
								配合前	配合後				
									配合直後	3時間	6時間		24時間
3	ペルジピン濃度0.01% 生理食塩液	イオパミロン370	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		25mg/25mL (2.5管)	微黄色澄明 3.5	白濁*				遮光保存 *：浮遊物あり
			大塚生食注	大塚工場	塩化ナトリウム	0.9% 225mL			無色澄明 5.9	配合方法： ペルジピン注射液10mg 2.5管(25mg/25mL)を大塚生食注225mLにて希釈した後、これにイオパミロン370 1管(75.52% 20mL)を配合した。			
			イオパミロン370	シェーリング	イオパミドール	75.52% 20mL			無色澄明 7.3				
3	ペルジピン濃度0.02% 生理食塩液	イオパミロン370	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		50mg/50mL (5管)	微黄色澄明 3.5	白濁*				遮光保存 *：浮遊物あり
			大塚生食注	大塚工場	塩化ナトリウム	0.9% 200mL			無色澄明 5.9	配合方法： ペルジピン注射液10mg 5管(50mg/50mL)を大塚生食注200mLにて希釈した後、これにイオパミロン370 1管(75.52% 20mL)を配合した。			
			イオパミロン370	シェーリング	イオパミドール	75.52% 20mL			無色澄明 7.3				
4	ペルジピン濃度0.01% 5%ブドウ糖注射液	イオパミロン370	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		25mg/25mL (2.5管)	微黄色澄明 3.5	白濁				遮光保存
			グルノン-5%	扶桑	ブドウ糖	225mL			無色澄明 4.5	配合方法： ペルジピン注射液10mg 2.5管(25mg/25mL)をグルノン-5% 225mLにて希釈した後、これにイオパミロン370 1管(75.52% 20mL)を配合した。			
			イオパミロン370	シェーリング	イオパミドール	75.52% 20mL			無色澄明 7.3				
4	ペルジピン濃度0.02% 5%ブドウ糖注射液	イオパミロン370	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		50mg/50mL (5管)	微黄色澄明 3.5	白濁*				遮光保存 *：振り混ぜると僅微黄色澄明になるが僅かに浮遊物あり
			グルノン-5%	扶桑	ブドウ糖	200mL			無色澄明 4.5	配合方法： ペルジピン注射液10mg 5管(50mg/50mL)をグルノン-5% 200mLにて希釈した後、これにイオパミロン370 1管(75.52% 20mL)を配合した。			
			イオパミロン370	シェーリング	イオパミドール	75.52% 20mL			無色澄明 7.3				

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号：D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 (多剤)

<本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

掲載番号	輸液名	配合剤名	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	外観／pH／残存率				備考	
								配合前	配合後				
									配合直後	3時間	6時間		24時間
5	ペルジピン濃度0.01% 生理食塩液	オムニパーク300注20mL	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		25mg/25mL (2.5管)	微黄色澄明 3.5	白濁 6.5				遮光保存
			大塚生食注	大塚工場	塩化ナトリウム	0.9% 225mL		無色澄明 5.9	配合方法： ペルジピン注射液10mg 2.5管(25mg/25mL)を大塚生食注225mLにて希釈した後、これにオムニパーク300 1管(64.71% 20mL)を配合した。				
			オムニパーク300	第一製薬	イオヘキソール	64.71% 20mL		僅微黄色澄明 7.1					
5	ペルジピン濃度0.02% 生理食塩液	オムニパーク300注20mL	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		50mg/50mL (5管)	微黄色澄明 3.5	白濁 6.1				遮光保存
			大塚生食注	大塚工場	塩化ナトリウム	0.9% 200mL		無色澄明 5.9	配合方法： ペルジピン注射液10mg 5管(50mg/50mL)を大塚生食注200mLにて希釈した後、これにオムニパーク300 1管(64.71% 20mL)を配合した。				
			オムニパーク300	第一製薬	イオヘキソール	64.71% 20mL		僅微黄色澄明 7.1					
6	ペルジピン濃度0.01% 5%ブドウ糖注射液	オムニパーク300注20mL	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		25mg/25mL (2.5管)	微黄色澄明 3.5	白濁* 6.3				遮光保存 *：振り混ぜると僅微黄色澄明になるが僅かに浮遊物あり
			グルノン-5%	扶桑	ブドウ糖	225mL		無色澄明 4.5	配合方法： ペルジピン注射液10mg 2.5管(25mg/25mL)をグルノン-5% 225mLにて希釈した後、これにオムニパーク300 1管(64.71% 20mL)を配合した。				
			オムニパーク300	第一製薬	イオヘキソール	64.71% 20mL		僅微黄色澄明 7.1					
6	ペルジピン濃度0.02% 5%ブドウ糖注射液	オムニパーク300注20mL	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		50mg/50mL (5管)	微黄色澄明 3.5	白濁* 5.7				遮光保存 *：振り混ぜると僅微黄色澄明になるが浮遊物あり
			グルノン-5%	扶桑	ブドウ糖	200mL		無色澄明 4.5	配合方法： ペルジピン注射液10mg 5管(50mg/50mL)をグルノン-5% 200mLにて希釈した後、これにオムニパーク300 1管(64.71% 20mL)を配合した。				
			オムニパーク300	第一製薬	イオヘキソール	64.71% 20mL		僅微黄色澄明 7.1					

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), +(希釈)の右側に記載の略号：D.W.は注射用水, Sal.は生理食塩液, Gul.はブドウ糖注射液, Sol.は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 (多剤)

<本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

掲載番号	輸液名	配合剤名	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	外観／pH／残存率					備考	
								配合前	配合後					
									配合直後	3時間	6時間	24時間		
7	ペルジピン濃度0.01% 生理食塩液	点滴用キシロカイン10% (販売中止)	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		25mg/25mL (2.5管)	微黄色澄明 3.5	僅微黄色澄明 5.6	僅微黄色澄明 5.7	僅微黄色澄明 5.7	僅微黄色澄明 5.7	遮光保存	
			大塚生食注	大塚工場	塩化ナトリウム	0.9% 225mL		無色澄明 5.9	配合方法： ペルジピン注射液10mg 2.5管(25mg/25mL)を大塚生食注225mLにて希釈した後、これに点滴用キシロカイン10% 1管(1g/10mL)を配合した。					
			点滴用キシロカイン10% (販売中止)	藤沢	リドカイン	1g/10mL		無色澄明 5.7						
7	ペルジピン濃度0.02% 生理食塩液	点滴用キシロカイン10% (販売中止)	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		50mg/50mL (5管)	微黄色澄明 3.5	僅微黄色澄明 5.6	僅微黄色澄明 5.5	僅微黄色澄明 5.5	僅微黄色澄明 5.5	遮光保存	
			大塚生食注	大塚工場	塩化ナトリウム	0.9% 200mL		無色澄明 5.9	配合方法： ペルジピン注射液10mg 5管(50mg/50mL)を大塚生食注200mLにて希釈した後、これに点滴用キシロカイン10% 1管(1g/10mL)を配合した。					
			点滴用キシロカイン10% (販売中止)	藤沢	リドカイン	1g/10mL		無色澄明 5.7						
8	ペルジピン濃度0.01% 5%ブドウ糖注射液	点滴用キシロカイン10% (販売中止)	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		25mg/25mL (2.5管)	微黄色澄明 3.5	僅微黄色澄明 5.4	僅微黄色澄明 5.3	僅微黄色澄明 5.2	僅微黄色澄明 5.3	遮光保存	
			グルノン-5%	扶桑	ブドウ糖	225mL		無色澄明 4.5	配合方法： ペルジピン注射液10mg 2.5管(25mg/25mL)をグルノン-5% 225mLにて希釈した後、これに点滴用キシロカイン10% 1管(1g/10mL)を配合した。					
			点滴用キシロカイン10% (販売中止)	藤沢	リドカイン	1g/10mL		無色澄明 5.7						
8	ペルジピン濃度0.02% 5%ブドウ糖注射液	点滴用キシロカイン10% (販売中止)	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		50mg/50mL (5管)	微黄色澄明 3.5	僅微黄色澄明 5.0	僅微黄色澄明 4.9	僅微黄色澄明 5.0	僅微黄色澄明 4.9	遮光保存	
			グルノン-5%	扶桑	ブドウ糖	200mL		無色澄明 4.5	配合方法： ペルジピン注射液10mg 5管(50mg/50mL)をグルノン-5% 200mLにて希釈した後、これに点滴用キシロカイン10% 1管(1g/10mL)を配合した。					
			点滴用キシロカイン10% (販売中止)	藤沢	リドカイン	1g/10mL		無色澄明 5.7						

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号: D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 (多剤)

<本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

掲載番号	輸液名	配合剤名	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	外観／pH／残存率				備考	
								配合前	配合後				
									配合直後	3時間	6時間		24時間
9	ペルジピン濃度0.01% 生理食塩液	ソルダクトン静注用100mg	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		25mg/25mL (2.5管)	微黄色澄明 3.5	白濁 6.7				遮光保存
			大塚生食注	大塚工場	塩化ナトリウム	0.9% 225mL			無色澄明 5.9	配合方法： ペルジピン注射液10mg 2.5管(25mg/25mL)を大塚生食注225mLにて希釈した後、これにソルダクトン100mg 1管のグルノン-5%溶液(100mg/5%GuI. 10mL)を配合した。			
			ソルダクトン100mg	サール・大日本	カンレノ酸カリウム	100mg/5%GuI. 10mL			僅微黄色澄明 9.0				
9	ペルジピン濃度0.02% 生理食塩液	ソルダクトン静注用100mg	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		50mg/50mL (5管)	微黄色澄明 3.5	白濁 6.0				遮光保存
			大塚生食注	大塚工場	塩化ナトリウム	0.9% 200mL			無色澄明 5.9	配合方法： ペルジピン注射液10mg 5管(50mg/50mL)を大塚生食注200mLにて希釈した後、これにソルダクトン100mg 1管のグルノン-5%溶液(100mg/5%GuI. 10mL)を配合した。			
			ソルダクトン100mg	サール・大日本	カンレノ酸カリウム	100mg/5%GuI. 10mL			僅微黄色澄明 9.0				
10	5%ブドウ糖注射液 (10倍希釈)	ソルダクトン静注用100mg	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		25mg/25mL (2.5管)	微黄色澄明 3.5	白濁 6.2				遮光保存
			グルノン-5%	扶桑	ブドウ糖	225mL			無色澄明 4.5	配合方法： ペルジピン注射液10mg 2.5管(25mg/25mL)をグルノン-5% 225mLにて希釈した後、これにソルダクトン100mg 1管のグルノン-5%溶液(100mg/5%GuI. 10mL)を配合した。			
			ソルダクトン100mg	サール・大日本	カンレノ酸カリウム	100mg/5%GuI. 10mL			僅微黄色澄明 9.0				
10	5%ブドウ糖注射液 (5倍希釈)	ソルダクトン静注用100mg	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		50mg/50mL (5管)	微黄色澄明 3.5	白濁 6.0				遮光保存
			グルノン-5%	扶桑	ブドウ糖	200mL			無色澄明 4.5	配合方法： ペルジピン注射液10mg 5管(50mg/50mL)をグルノン-5% 200mLにて希釈した後、これにソルダクトン100mg 1管のグルノン-5%溶液(100mg/5%GuI. 10mL)を配合した。			
			ソルダクトン100mg	サール・大日本	カンレノ酸カリウム	100mg/5%GuI. 10mL			僅微黄色澄明 9.0				

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号: D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, GuI. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 (多剤)

<本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

掲載番号	輸液名	配合剤名	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	外観／pH／残存率				備考	
								配合前	配合後				
									配合直後	3時間	6時間		24時間
11	ペルジピン濃度0.01% (10倍希釈) 生理食塩液	チエナム点滴静注用0.5g	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		25mg/25mL (2.5管)	微黄色澄明 3.5	白濁 6.9				遮光保存
			大塚生食注	大塚工場	塩化ナトリウム	0.9% 225mL			無色澄明 5.9	配合方法： ペルジピン注射液10mg 2.5管(25mg/25mL)を大塚生食注225mLにて希釈した後、これにチエナム点滴用 1管の大塚生食注溶液(0.5g/Sal. 100mL)を配合した。			
			チエナム点滴用	万有	イミペネム(0.5g)・シラスタチン(0.5g)	0.5g/Sal. 100mL			僅微黄色澄明 7.3				
11	ペルジピン濃度0.02% (5倍希釈) 生理食塩液	チエナム点滴静注用0.5g	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		50mg/50mL (5管)	微黄色澄明 3.5	白濁 6.6				遮光保存
			大塚生食注	大塚工場	塩化ナトリウム	0.9% 200mL			無色澄明 5.9	配合方法： ペルジピン注射液10mg 5管(50mg/50mL)を大塚生食注200mLにて希釈した後、これにチエナム点滴用 1管の大塚生食注溶液(0.5g/Sal. 100mL)を配合した。			
			チエナム点滴用	万有	イミペネム(0.5g)・シラスタチン(0.5g)	0.5g/Sal. 100mL			僅微黄色澄明 7.3				
12	5%ブドウ糖注射液 (10倍希釈) ペルジピン濃度0.01%	チエナム点滴静注用0.5g	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		25mg/25mL (2.5管)	微黄色澄明 3.5	白濁 6.9				遮光保存
			グルノン-5%	扶桑	ブドウ糖	225mL			無色澄明 4.5	配合方法： ペルジピン注射液10mg 2.5管(25mg/25mL)をグルノン-5% 225mLにて希釈した後、これにチエナム点滴用 1管の大塚生食注溶液(0.5g/Sal. 100mL)を配合した。			
			チエナム点滴用	万有	イミペネム(0.5g)・シラスタチン(0.5g)	0.5g/Sal. 100mL			僅微黄色澄明 7.3				
12	5%ブドウ糖注射液 (5倍希釈) ペルジピン濃度0.02%	チエナム点滴静注用0.5g	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		50mg/50mL (5管)	微黄色澄明 3.5	白濁 6.6				遮光保存
			グルノン-5%	扶桑	ブドウ糖	200mL			無色澄明 4.5	配合方法： ペルジピン注射液10mg 5管(50mg/50mL)をグルノン-5% 200mLにて希釈した後、これにチエナム点滴用 1管の大塚生食注溶液(0.5g/Sal. 100mL)を配合した。			
			チエナム点滴用	万有	イミペネム(0.5g)・シラスタチン(0.5g)	0.5g/Sal. 100mL			僅微黄色澄明 7.3				

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号: D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gl. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 (多剤)

<本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

掲載番号	輸液名	配合剤名	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	外観／pH／残存率				備考	
								配合前	配合後				
									配合直後	3時間	6時間		24時間
13	ペルジピン濃度0.01% 生理食塩液	トランサミン注10%	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		25mg/25mL (2.5管)	微黄色澄明 3.5	白濁 6.6				遮光保存
			大塚生食注	大塚工場	塩化ナトリウム	0.9% 225mL			無色澄明 5.9	配合方法： ペルジピン注射液10mg 2.5管(25mg/25mL)を大塚生食注225mLにて希釈した後、これにトランサミンS注 1管(1g/10mL)を配合した。			
			トランサミンS注	第一製薬	トラネキサム酸	1g/10mL			無色澄明 7.6				
13	ペルジピン濃度0.02% 生理食塩液	トランサミン注10%	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		50mg/50mL (5管)	微黄色澄明 3.5	白濁 6.3				遮光保存
			大塚生食注	大塚工場	塩化ナトリウム	0.9% 200mL			無色澄明 5.9	配合方法： ペルジピン注射液10mg 5管(50mg/50mL)を大塚生食注200mLにて希釈した後、これにトランサミンS注 1管(1g/10mL)を配合した。			
			トランサミンS注	第一製薬	トラネキサム酸	1g/10mL			無色澄明 7.6				
14	ペルジピン濃度0.01% 5%ブドウ糖注射液	トランサミン注10%	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		25mg/25mL (2.5管)	微黄色澄明 3.5	白濁 6.5				遮光保存
			グルノン-5%	扶桑	ブドウ糖	225mL			無色澄明 4.5	配合方法： ペルジピン注射液10mg 2.5管(25mg/25mL)をグルノン-5% 225mLにて希釈した後、これにトランサミンS注 1管(1g/10mL)を配合した。			
			トランサミンS注	第一製薬	トラネキサム酸	1g/10mL			無色澄明 7.6				
14	ペルジピン濃度0.02% 5%ブドウ糖注射液	トランサミン注10%	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		50mg/50mL (5管)	微黄色澄明 3.5	白濁 6.3				遮光保存
			グルノン-5%	扶桑	ブドウ糖	200mL			無色澄明 4.5	配合方法： ペルジピン注射液10mg 5管(50mg/50mL)をグルノン-5% 200mLにて希釈した後、これにトランサミンS注 1管(1g/10mL)を配合した。			
			トランサミンS注	第一製薬	トラネキサム酸	1g/10mL			無色澄明 7.6				

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号: D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 (多剤)

<本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

掲載番号	輸液名	配合剤名	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	外観／pH／残存率				備考	
								配合前	配合後				
									配合直後	3時間	6時間		24時間
15	ペルジピン濃度0.01% (10倍希釈) 生理食塩液	パンスポリン静注用1g	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		25mg/25mL (2.5管)	微黄色澄明 3.5	僅微黄色微濁 6.3				遮光保存
			大塚生食注	大塚工場	塩化ナトリウム	0.9% 225mL			無色澄明 5.9	配合方法： ペルジピン注射液10mg 2.5管(25mg/25mL)を大塚生食注225mLにて希釈した後、これにパンスポリン静注用1g 1管のグルノン-5%溶液(100mg/5%Gul. 20mL)を配合した。			
			パンスポリン静注用1g	武田	セフォチアム塩酸塩	1g/5%Gul. 20mL			微黄色澄明 6.4				
15	ペルジピン濃度0.02% (5倍希釈) 生理食塩液	パンスポリン静注用1g	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		50mg/50mL (5管)	微黄色澄明 3.5	白濁* 6.3				遮光保存 *：浮遊物あり
			大塚生食注	大塚工場	塩化ナトリウム	0.9% 200mL			無色澄明 5.9	配合方法： ペルジピン注射液10mg 5管(50mg/50mL)を大塚生食注200mLにて希釈した後、これにパンスポリン静注用1g 1管のグルノン-5%溶液(100mg/5%Gul. 20mL)を配合した。			
			パンスポリン静注用1g	武田	セフォチアム塩酸塩	1g/5%Gul. 20mL			微黄色澄明 6.4				
16	5%ブドウ糖注射液 (10倍希釈) ペルジピン濃度0.01%	パンスポリン静注用1g	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		25mg/25mL (2.5管)	微黄色澄明 3.5	僅微黄色微濁 6.5				遮光保存
			グルノン-5%	扶桑	ブドウ糖	225mL			無色澄明 4.5	配合方法： ペルジピン注射液10mg 2.5管(25mg/25mL)をグルノン-5% 225mLにて希釈した後、これにパンスポリン静注用1g 1管のグルノン-5%溶液(100mg/5%Gul. 20mL)を配合した。			
			パンスポリン静注用1g	武田	セフォチアム塩酸塩	1g/5%Gul. 20mL			微黄色澄明 6.4				
16	5%ブドウ糖注射液 (5倍希釈) ペルジピン濃度0.02%	パンスポリン静注用1g	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		50mg/50mL (5管)	微黄色澄明 3.5	白濁* 6.5				遮光保存 *：浮遊物あり
			グルノン-5%	扶桑	ブドウ糖	200mL			無色澄明 4.5	配合方法： ペルジピン注射液10mg 5管(50mg/50mL)をグルノン-5% 200mLにて希釈した後、これにパンスポリン静注用1g 1管のグルノン-5%溶液(100mg/5%Gul. 20mL)を配合した。			
			パンスポリン静注用1g	武田	セフォチアム塩酸塩	1g/5%Gul. 20mL			微黄色澄明 6.4				

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号：D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 (多剤)

<本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

掲載番号	輸液名	配合剤名	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	外観／pH／残存率					備考	
								配合前	配合後					
									配合直後	3時間	6時間	24時間		
17	ペルジピン濃度0.01% (10倍希釈) 生理食塩液	フルマリン静注用1g	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		25mg/25mL (2.5管)	微黄色澄明 3.5	僅微黄色澄明 4.7	僅微黄色澄明 5.1	僅微黄色澄明 5.1	僅微黄色澄明 5.1	遮光保存	
			大塚生食注	大塚工場	塩化ナトリウム	0.9% 225mL		無色澄明 5.9	配合方法： ペルジピン注射液10mg 2.5管(25mg/25mL)を大塚生食注225mLにて希釈した後、これにフルマリン静注用1g 1管のグルノン-5%溶液(1g/5%GuI. 4mL)を配合した。					
			フルマリン静注用1g	塩野義	フロモキシセフナトリウム	1g/5%GuI. 4mL		微黄色澄明 5.6						
17	ペルジピン濃度0.02% (5倍希釈) 生理食塩液	フルマリン静注用1g	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		50mg/50mL (5管)	微黄色澄明 3.5	僅微黄色澄明 4.8	僅微黄色澄明 5.0	僅微黄色澄明 5.0	僅微黄色澄明 5.0	遮光保存	
			大塚生食注	大塚工場	塩化ナトリウム	0.9% 200mL		無色澄明 5.9	配合方法： ペルジピン注射液10mg 5管(50mg/50mL)を大塚生食注200mLにて希釈した後、これにフルマリン静注用1g 1管のグルノン-5%溶液(1g/5%GuI. 4mL)を配合した。					
			フルマリン静注用1g	塩野義	フロモキシセフナトリウム	1g/5%GuI. 4mL		微黄色澄明 5.6						
18	ペルジピン濃度0.01% (10倍希釈) 5%ブドウ糖注射液	フルマリン静注用1g	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		25mg/25mL (2.5管)	微黄色澄明 3.5	僅微黄色澄明 4.7	僅微黄色澄明 5.0	僅微黄色澄明 5.0	僅微黄色澄明 5.0	遮光保存	
			グルノン-5%	扶桑	ブドウ糖	225mL		無色澄明 4.5	配合方法： ペルジピン注射液10mg 2.5管(25mg/25mL)をグルノン-5% 225mLにて希釈した後、これにフルマリン静注用1g 1管のグルノン-5%溶液(1g/5%GuI. 4mL)を配合した。					
			フルマリン静注用1g	塩野義	フロモキシセフナトリウム	1g/5%GuI. 4mL		微黄色澄明 5.6						
18	ペルジピン濃度0.02% (5倍希釈) 5%ブドウ糖注射液	フルマリン静注用1g	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		50mg/50mL (5管)	微黄色澄明 3.5	僅微黄色澄明 4.7	僅微黄色澄明 4.9	僅微黄色澄明 4.9	僅微黄色澄明 5.0	遮光保存	
			グルノン-5%	扶桑	ブドウ糖	200mL		無色澄明 4.5	配合方法： ペルジピン注射液10mg 5管(50mg/50mL)をグルノン-5% 200mLにて希釈した後、これにフルマリン静注用1g 1管のグルノン-5%溶液(1g/5%GuI. 4mL)を配合した。					
			フルマリン静注用1g	塩野義	フロモキシセフナトリウム	1g/5%GuI. 4mL		微黄色澄明 5.6						

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号: D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, GuI. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 (多剤)

<本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

掲載番号	輸液名	配合剤名	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	外観／pH／残存率				備考	
								配合前	配合後				
									配合直後	3時間	6時間		24時間
19	ペルジピン濃度0.01% (10倍希釈) 生理食塩液	ホスミシンS 静注用2g	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		25mg/25mL (2.5管)	微黄色澄明 3.5	白濁 7.5				遮光保存
			大塚生食注	大塚工場	塩化ナトリウム	0.9% 225mL			無色澄明 5.9	配合方法： ペルジピン注射液10mg 2.5管(25mg/25mL)を大塚生食注225mLにて希釈した後、これに静注用ホスミシンS 1管のグルノン-5%溶液(2g/5%Gul. 20mL)を配合した。			
			静注用ホスミシンS	明治製菓	ホスホマイシンナトリウム	2g/5%Gul. 20mL			無色澄明 7.3				
19	ペルジピン濃度0.02% (5倍希釈) 生理食塩液	ホスミシンS 静注用2g	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		50mg/50mL (5管)	微黄色澄明 3.5	白濁 7.5				遮光保存
			大塚生食注	大塚工場	塩化ナトリウム	0.9% 200mL			無色澄明 5.9	配合方法： ペルジピン注射液10mg 5管(50mg/50mL)を大塚生食注200mLにて希釈した後、これに静注用ホスミシンS 1管のグルノン-5%溶液(2g/5%Gul. 20mL)を配合した。			
			静注用ホスミシンS	明治製菓	ホスホマイシンナトリウム	2g/5%Gul. 20mL			無色澄明 7.3				
20	5%ブドウ糖注射液 (10倍希釈) ペルジピン濃度0.01%	ホスミシンS 静注用2g	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		25mg/25mL (2.5管)	微黄色澄明 3.5	白濁 7.6				遮光保存
			グルノン-5%	扶桑	ブドウ糖	225mL			無色澄明 4.5	配合方法： ペルジピン注射液10mg 2.5管(25mg/25mL)をグルノン-5% 225mLにて希釈した後、これに静注用ホスミシンS 1管のグルノン-5%溶液(2g/5%Gul. 20mL)を配合した。			
			静注用ホスミシンS	明治製菓	ホスホマイシンナトリウム	2g/5%Gul. 20mL			無色澄明 7.3				
20	5%ブドウ糖注射液 (5倍希釈) ペルジピン濃度0.02%	ホスミシンS 静注用2g	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		50mg/50mL (5管)	微黄色澄明 3.5	白濁 7.6				遮光保存
			グルノン-5%	扶桑	ブドウ糖	200mL			無色澄明 4.5	配合方法： ペルジピン注射液10mg 5管(50mg/50mL)をグルノン-5% 200mLにて希釈した後、これに静注用ホスミシンS 1管のグルノン-5%溶液(2g/5%Gul. 20mL)を配合した。			
			静注用ホスミシンS	明治製菓	ホスホマイシンナトリウム	2g/5%Gul. 20mL			無色澄明 7.3				

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), +(希釈)の右側に記載の略号：D.W.は注射用水, Sal.は生理食塩液, Gul.はブドウ糖注射液, Sol.は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 (多剤)

<本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

掲載番号	輸液名	配合剤名	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	外観／pH／残存率				備考	
								配合前	配合後				
									配合直後	3時間	6時間		24時間
21	ペルジピン濃度0.01% (生理食塩液希釈)	ラシックス注20mg	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		25mg/25mL (2.5管)	微黄色澄明 3.5	白濁*				遮光保存 *：振り混ぜると僅微黄色澄明になるが僅かに浮遊物あり
			大塚生食注	大塚工場	塩化ナトリウム	0.9% 225mL		無色澄明 5.9	配合方法： ペルジピン注射液10mg 2.5管(25mg/25mL)を大塚生食注225mLにて希釈した後、これにラシックス注20mg 1管(20mg/2mL)を配合した。				
			ラシックス注20mg	ヘキスト	フロセミド	20mg/2mL		無色澄明 9.0					
21	ペルジピン濃度0.02% (生理食塩液希釈)	ラシックス注20mg	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		50mg/50mL (5管)	微黄色澄明 3.5	白濁*				遮光保存 *：振り混ぜると僅微黄色澄明になるが僅かに浮遊物あり
			大塚生食注	大塚工場	塩化ナトリウム	0.9% 200mL		無色澄明 5.9	配合方法： ペルジピン注射液10mg 5管(50mg/50mL)を大塚生食注200mLにて希釈した後、これにラシックス注20mg 1管(20mg/2mL)を配合した。				
			ラシックス注20mg	ヘキスト	フロセミド	20mg/2mL		無色澄明 9.0					
22	5%ブドウ糖注射液 (ペルジピン濃度0.01%希釈)	ラシックス注20mg	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		25mg/25mL (2.5管)	微黄色澄明 3.5	白濁*				遮光保存 *：振り混ぜると僅微黄色澄明になるが僅かに浮遊物あり
			グルノン-5%	扶桑	ブドウ糖	225mL		無色澄明 4.5	配合方法： ペルジピン注射液10mg 2.5管(25mg/25mL)をグルノン-5% 225mLにて希釈した後、これにラシックス注20mg 1管(20mg/2mL)を配合した。				
			ラシックス注20mg	ヘキスト	フロセミド	20mg/2mL		無色澄明 9.0					
22	5%ブドウ糖注射液 (ペルジピン濃度0.02%希釈)	ラシックス注20mg	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		50mg/50mL (5管)	微黄色澄明 3.5	白濁*				遮光保存 *：振り混ぜると僅微黄色澄明になるが浮遊物あり
			グルノン-5%	扶桑	ブドウ糖	200mL		無色澄明 4.5	配合方法： ペルジピン注射液10mg 5管(50mg/50mL)をグルノン-5% 200mLにて希釈した後、これにラシックス注20mg 1管(20mg/2mL)を配合した。				
			ラシックス注20mg	ヘキスト	フロセミド	20mg/2mL		無色澄明 9.0					

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号：D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 (多剤)

<本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

掲載番号	輸液名	配合剤名	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	外観／pH／残存率					備考
								配合前	配合後				
									配合直後	3時間	6時間	24時間	
23	5%ブドウ糖注射液 (2倍希釈)	アミノレバン点滴静注	ペルジピン注射液2mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		2mg/2mL	微黄色澄明 3.7	+++*	+++	+++	+	*：配合直後より混濁
			光糖液5%	光	ブドウ糖	2mL		無色澄明 4.1					
			アミノレバン	大塚工場	肝不全用アミノ酸製剤(1)	2mL		(無色澄明) 6.1					
			配合方法： ペルジピン注射液2mg 1管(2mg/2mL)を光糖液5% 2mLにて希釈した後、これにアミノレバン 2mLを配合した。										
24	5%ブドウ糖注射液 (2倍希釈)	クリニット注10%	ペルジピン注射液2mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		2mg/2mL	微黄色澄明 3.7	(無色澄明) 4.8	—	—	—	配合方法： ペルジピン注射液2mg 1管(2mg/2mL)を光糖液5% 2mLにて希釈した後、これにクリニット注10% 2mLを配合した。
			光糖液5%	光	ブドウ糖	2mL		無色澄明 4.1					
			クリニット注10%	小林薬工 - エーザイ	キシリトール	2mL		(無色澄明) 7.7					
			100.0 99.7										
#N/A	5%ブドウ糖注射液 (2倍希釈)	KN補液3A	ペルジピン注射液2mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		2mg/2mL	微黄色澄明 3.7	(無色~微黄色澄明) 5.4	—	—	—	配合方法： ペルジピン注射液2mg 1管(2mg/2mL)を光糖液5% 2mLにて希釈した後、これにKN補液3A 2mLを配合した。 KN補液3Aは販売中止
			光糖液5%	光	ブドウ糖	2mL		無色澄明 4.1					
			KN補液3A	大塚工場	維持液(8)/乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	2mL		(無色~微黄色澄明) 5.7					
			100.0 100.0										
25	5%ブドウ糖注射液 (2倍希釈)	タチオン注射液用200mg	ペルジピン注射液20mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		20mg/20mL	微黄色澄明 3.7	—	—	—	配合方法： ペルジピン注射液20mg 1管(20mg/20mL)を光糖液5% 20mLにて希釈した後、これにタチオン注射液 1管の生理食塩液溶液(200mg/D.W. 3mL)を配合した。	
			光糖液5%	光	ブドウ糖	20mL		無色澄明 4.1					
			タチオン注射液用	山之内	グルタチオン	200mg /D.W. 3mL		5.9					
			5.3 5.1 5.2 5.3 100.0 100.0										
25	5%ブドウ糖注射液 (6倍希釈)	タチオン注射液用200mg	ペルジピン注射液20mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		20mg/20mL	微黄色澄明 3.7	—	—	—	配合方法： ペルジピン注射液20mg 1管(20mg/20mL)を光糖液5% 100mLにて希釈した後、これにタチオン注射液 1管の生理食塩液溶液(200mg/D.W. 3mL)を配合した。	
			光糖液5%	光	ブドウ糖	100mL		無色澄明 4.5					
			タチオン注射液用	山之内	グルタチオン	200mg /D.W. 3mL		5.9					
			5.3 5.1 5.1 5.3 100.0 103.8										
26	5%ブドウ糖注射液 (2倍希釈)	pH:8-「HD」	ペルジピン注射液2mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		2mg/2mL	微黄色澄明 3.7	+++*	+++	+++	++	*：配合直後より混濁
			光糖液5%	光	ブドウ糖	2mL		無色澄明 4.1					
			ハルトマン液 pH:8-ミドリ	ミドリ十字	乳酸リンゲル液	2mL		(無色~微黄色澄明) 8.0					
			配合方法： ペルジピン注射液2mg 1管(2mg/2mL)を光糖液5% 2mLにて希釈した後、これにハルトマン液pH:8-「HD」 2mLを配合した。										

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の/(溶解), +(希釈)の右側に記載の略号：D.W.は注射用水, Sal.は生理食塩液, GuI.はブドウ糖注射液, Sol.は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 (多剤)

<本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

掲載番号	輸液名	配合剤名	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	外観／pH／残存率					備考
								配合前	配合後				
									配合直後	3時間	6時間	24時間	
27	5%ブドウ糖注射液 (2倍希釈)	フラビタン注射液10mg	ペルジピン注射液20mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		20mg/20mL	微黄色澄明 3.7	(黄色澄明) 4.7	— 4.8	— 4.8	— 5.0	残存率低下
			光糖液5%	光	ブドウ糖	20mL	無色澄明 4.1	配合方法： ペルジピン注射液20mg 1管(20mg/20mL)を光糖液5% 20mLにて希釈した後、これにフラビタン注射液10mg 1管(10mg/1mL)を配合した。					
			フラビタン注射液10mg	トーアエイヨー	フラビンアデニンジヌクレオチド	10mg/1mL	(黄色澄明) 5.9						
27	5%ブドウ糖注射液 (6倍希釈)	フラビタン注射液10mg	ペルジピン注射液20mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		20mg/20mL	微黄色澄明 3.7	(黄色澄明) 4.9	— 4.9	— 4.9	— 4.8	残存率低下
			光糖液5%	光	ブドウ糖	100mL	無色澄明 4.5	配合方法： ペルジピン注射液20mg 1管(20mg/20mL)を光糖液5% 100mLにて希釈した後、これにフラビタン注射液10mg 1管(10mg/1mL)を配合した。					
			フラビタン注射液10mg	トーアエイヨー	フラビンアデニンジヌクレオチド	10mg/1mL	(黄色澄明) 5.9						
28	5%ブドウ糖注射液 (3倍希釈)	フラビタン注射液10mg	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		10mg/10mL	微黄色澄明 3.7	(黄色澄明) 5.5	— 5.4	— 5.3	— 5.3	残存率低下
			光糖液5%	光	ブドウ糖	20mL	無色澄明 4.1	配合方法： ペルジピン注射液10mg 1管(10mg/10mL)を光糖液5% 20mLにて希釈した後、これにフラビタン注射液10mg 1管(10mg/1mL)を配合した。					
			フラビタン注射液10mg	トーアエイヨー	フラビンアデニンジヌクレオチド	10mg/1mL	(黄色澄明) 5.9						
28	5%ブドウ糖注射液 (11倍希釈)	フラビタン注射液10mg	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		10mg/10mL	微黄色澄明 3.7	(黄色澄明) 4.9	— 4.9	— 4.8	— 4.9	残存率低下
			光糖液5%	光	ブドウ糖	100mL	無色澄明 4.3	配合方法： ペルジピン注射液10mg 1管(10mg/10mL)を光糖液5% 100mLにて希釈した後、これにフラビタン注射液10mg 1管(10mg/1mL)を配合した。					
			フラビタン注射液10mg	トーアエイヨー	フラビンアデニンジヌクレオチド	10mg/1mL	(黄色澄明) 5.9						
29	5%ブドウ糖注射液 (2倍希釈)	ヘスパンダー輸液	ペルジピン注射液2mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		2mg/2mL	微黄色澄明 3.7	(無色澄明) 5.6	— 5.6	— 5.5	— 5.6	残存率低下
			光糖液5%	光	ブドウ糖	2mL	無色澄明 4.1	配合方法： ペルジピン注射液2mg 1管(2mg/2mL)を光糖液5% 2mLにて希釈した後、これにヘスパンダー 2mLを配合した。					
			ヘスパンダー	杏林	ヒドロキシエチルデンプン配合剤/血液代用剤	2mL	(無色澄明) 6.2						
30	5%ブドウ糖注射液 (2倍希釈)	マンニトールS注射液	ペルジピン注射液2mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		2mg/2mL	微黄色澄明 3.7	(無色澄明) 4.6	— 4.6	— 4.6	— 4.7	残存率低下
			光糖液5%	光	ブドウ糖	2mL	無色澄明 4.1	配合方法： ペルジピン注射液2mg 1管(2mg/2mL)を光糖液5% 2mLにて希釈した後、これにマンニトールS注射液 2mLを配合した。					
			マンニトールS注射液	日研	D-ソルビトール・D-マンニトール	2mL	(無色澄明) 7.2						

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号：D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 (多剤)

<本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

掲載番号	輸液名	配合剤名	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	外観／pH／残存率				備考		
								配合前	配合後					
									配合直後	3時間	6時間		24時間	
31	5%ブドウ糖注射液 (2倍希釈)	ラクテック注	ペルジピン注射液2mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		2mg/2mL	微黄色澄明 3.7	+*	+	+	—	*：配合直後より混濁	
			光糖液5%	光	ブドウ糖	2mL		無色澄明 4.1						配合方法： ペルジピン注射液2mg 1管(2mg/2mL)を光糖液5% 2mLにて希釈した後、これにラクテック注 2mLを配合した。
			ラクテック注	大塚工場	乳酸リンゲル液	2mL		(無色澄明) 6.3						
32	5%ブドウ糖注射液 (2倍希釈)	ラクテックG輸液	ペルジピン注射液2mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		2mg/2mL	微黄色澄明 3.7	+*	+	+	—	*：配合直後より混濁	
			光糖液5%	光	ブドウ糖	2mL		無色澄明 4.1						配合方法： ペルジピン注射液2mg 1管(2mg/2mL)を光糖液5% 2mLにて希釈した後、これにラクテックG注 2mLを配合した。
			ラクテックG注	大塚工場	乳酸リンゲル液 (ソルビトール加)	2mL		(無色～微黄色澄明) 6.3						
33	5%ブドウ糖注射液 (2倍希釈)	ラクトリンゲルS注	ペルジピン注射液2mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		2mg/2mL	微黄色澄明 3.7	+*	+	+	—	*：配合直後より混濁	
			光糖液5%	光	ブドウ糖	2mL		無色澄明 4.1						配合方法： ペルジピン注射液2mg 1管(2mg/2mL)を光糖液5% 2mLにて希釈した後、これにラクトリンゲルS注“フソー” 2mLを配合した。
			ラクトリンゲルS注“フソー”	扶桑	乳酸リンゲル液 (ソルビトール加)	2mL		(無色澄明) 6.3						

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号: D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 (多剤)

<本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

掲載番号	輸液名	配合剤名	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	外観／pH／残存率				備考		
								配合前	配合後					
									配合直後	3時間	6時間		24時間	
34	5% (3.5倍希釈) ブドウ糖注射液	ラクテック注	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		120mg/120mL (12管)	微黄色澄明 3.7	++*	+	±	—	*：配合直後より混濁	
			光糖液5%	光	ブドウ糖	300mL		無色澄明 4.1						
			ラクテック注	大塚工場	乳酸リンゲル液	500mL		(無色澄明) 6.2						
			配合方法： ペルジピン注射液10mg 12管(120mg/120mL)を光糖液5% 300mLにて希釈した後、これにラクテック注 500mLを配合した。											
			ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		120mg/120mL (12管)	微黄色澄明 3.7	(無色澄明)	—	—	—		
			光糖液5%	光	ブドウ糖	400mL		無色澄明 4.1						
			ラクテック注	大塚工場	乳酸リンゲル液	500mL		(無色澄明) 6.3						
			配合方法： ペルジピン注射液10mg 12管(120mg/120mL)を光糖液5% 400mLにて希釈した後、これにラクテック注 500mLを配合した。											
			100.0 6.0 6.0 6.0											
34	5% (4.3倍希釈) ブドウ糖注射液	ラクテック注	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		120mg/120mL (12管)	微黄色澄明 3.7	(無色澄明)	—	—	—		
			光糖液5%	光	ブドウ糖	500mL		無色澄明 4.1						
			ラクテック注	大塚工場	乳酸リンゲル液	500mL		(無色澄明) 6.2						
			配合方法： ペルジピン注射液10mg 12管(120mg/120mL)を光糖液5% 500mLにて希釈した後、これにラクテック注 500mLを配合した。											
			100.0 6.0 6.0 6.0											
			ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		120mg/120mL (12管)	微黄色澄明 3.7	(無色澄明)	—	—	—		
			光糖液5%	光	ブドウ糖	500mL		無色澄明 4.1						
			ラクテック注	大塚工場	乳酸リンゲル液	500mL		(無色澄明) 6.2						
			100.0 101.0 100.0											

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), +(希釈)の右側に記載の略号：D.W.は注射用水, Sal.は生理食塩液, Gul.はブドウ糖注射液, Sol.は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液10mg 配合変化表 (多剤)

<本剤の性状：微黄色澄明 pH：3.0~4.5 pH変動試験：pH5.19で白濁>

掲載番号	輸液名	配合剤名	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	外観／pH／残存率				備考		
								配合前	配合後					
									配合直後	3時間	6時間		24時間	
35	5% (3.5倍希釈) ブドウ糖注射液	ラクテックG輸液	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		120mg/120mL (12管)	微黄色澄明 3.7	＋＊ 6.0	＋ 6.0	± 6.0	－ 6.0	＊：配合直後より混濁	
			光糖液5%	光	ブドウ糖	300mL		無色澄明 4.1	配合方法： ペルジピン注射液10mg 12管(120mg/120mL)を光糖液5% 300mLにて希釈した後、これにラクテックG注 500mLを配合した。					
			ラクテックG注	大塚工場	乳酸リンゲル液 (ソルビトール加)	500mL		(無色澄明) 6.3						
35	5% (4.3倍希釈) ブドウ糖注射液	ラクテックG輸液	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		120mg/120mL (12管)	微黄色澄明 3.7	(無色澄明) 6.1	－ 6.0	－ 6.0	－ 6.0	配合方法： ペルジピン注射液10mg 12管(120mg/120mL)を光糖液5% 400mLにて希釈した後、これにラクテックG注 500mLを配合した。	
			光糖液5%	光	ブドウ糖	400mL		無色澄明 4.1	100.0	100.9	97.3			
			ラクテックG注	大塚工場	乳酸リンゲル液 (ソルビトール加)	500mL		(無色澄明) 6.3						
35	5% (5.2倍希釈) ブドウ糖注射液	ラクテックG輸液	ペルジピン注射液10mg	山之内	ニカルジピン塩酸塩		120mg/120mL (12管)	微黄色澄明 3.7	(無色澄明) 6.1	－ 6.0	－ 6.0	－ 5.9	配合方法： ペルジピン注射液10mg 12管(120mg/120mL)を光糖液5% 500mLにて希釈した後、これにラクテックG注 500mLを配合した。	
			光糖液5%	光	ブドウ糖	500mL		無色澄明 4.1	100.0	101.0	101.0			
			ラクテックG注	大塚工場	乳酸リンゲル液 (ソルビトール加)	500mL		(無色澄明) 6.2						

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), +(希釈)の右側に記載の略号：D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ペルジピン注射液 10mg <多剤配合>

試験方法

[1] 配合方法

本剤と配合剤の配合方法は、表に示す「本剤の使用量」「配合剤の使用量」に示す比率にて配合した。

[2] 保存条件および試験項目

1) 保存条件

本剤と配合剤を配合した後、室温散光にて保存した（遮光保存した場合は製品名に★を付し、備考欄に遮光保存と記載）

2) 試験項目

外観： 配合直後、3時間、6時間、24時間後に 目視にて外観の変化を観察した。

pH： 配合直後、3時間、6時間、24時間後に 日局一般試験法 pH試験法 に準じてpHを測定した。

含量および残存率： 配合直後、3時間、6時間、24時間後に 配合溶液中のニカルジピン塩酸塩（本剤の薬効成分）含量を液体クロマトグラフ法により測定した。
更に測定含量に基づき、配合直後の含量を100%とした残存率を算定した。
ただし、配合後に外観変化が認められた場合、以後の定量を実施せず。

参考：【配合薬剤掲載一覧（五十音順）】

★：遮光条件で試験実施

<各製品については、各々の添付文書等をご確認ください。>

	製品名（2014年4月現在）	掲載されている製品名	掲載番号
あ行	アクチット輸液	アクチット注	207
	アクトシン注射用300mg	アクトシン★	30
	アスバラカリウム注10mEq	アスバラK注射液	107
	アスペノン静注用100	アスペノン注	35
	アタラックスーP注射液(50mg/ml)	同左	13
	アデホスーLコーワ注20mg	アデホスーLコーワ注3号	221
	アデラビン9号注2mL	アデラビン9号	155
	アドナ注（静脈用）100mg	アドナ(AC-17)注射液(静脈用)★	210
	アネキセート注射液0.5mg	同左	68
	アミカマイシン注射液200mg	アミカマイシン注射液	233
	アミカリック輸液	アミカリック	135
	アミグラント輸液	同左	152
	アミサリン注100mg	アミサリン注	33
	アミノトリパ1号輸液	アミノトリパ1号	136
	アミノトリパ2号輸液	アミノトリパ2号	137
	アミノフリード輸液	アミノフリード	138
	アミノレバン点滴静注	アミノレバン	128
	アミパレン輸液	アミパレン	130
	アレビアチン注250mg	同左	6
	E L - 3号輸液	E L - 3号	172
	10% E L - 3号輸液	10% E L - 3号	175
	イオパミロン注370	イオパミロン370★	265
	イセバシン注射液200	イセバシン注射液	234
	イセバシン注射液400	同左	236
	イノバン注200mg	イノバン注	24
	イノバン注50mg	イノバン注★	23
	インダシン静注用1mg	インダシン静注用	60
	インデラル注射液2mg	同左	34
	ヴィーン3G輸液	ヴィーン3G注	206
	ヴィーンD輸液	ヴィーンD注	184
	ヴィーンF輸液	ヴィーンF注	182
	ウロキナーゼ静注用6万単位「ベネシス」(販売中止)	ウロキナーゼ6万-W f (販売中止)	219
	エクサシン注射液200	エクサシン注射液	235
	エフェドリン「ナガサ」注射液40mg	エフェドリン「ナガサ」注射液★	69
	エリル点滴静注液30mg	エリル注S	62
	エルネオパ1号輸液	同左	150
	エルネオパ2号輸液	同左	151
	エレメンミック注	同左	110
	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g	同左	230
	オーツカMV注	同左	101
	大塚食塩注10%	同左	157
大塚生食注	同左	158	
大塚糖液5%	同左	112	
大塚糖液50%	同左	115	

	製品名（2014年4月現在）	掲載されている製品名	掲載番号	
あ行	オブチレイ350注100mL	オブチレイ350★	267	
	オムニパーク300注20mL	オムニパーク300★	266	
か行	カコージンD注0.1%	カコージンD注200	25	
	ガスター注射液20mg	同左	73	
	カタボンHi注600mg	カタボン・Hi	27	
	カタボンLow注200mg	カタボン・Low	26	
	カルチコール注射液8.5%5mL	カルチコール注射液	105	
	カルベニン点滴用0.5g	同左	260	
	キサンボン注射用40mg	同左	223	
	キドミン輸液	キドミン	132	
	強カネオミノファーゲンシー静注20mL	強カネオミノファーゲンシー	216	
	キリット注5%	5%キリット注	118	
	キリット注5%	同左	119	
	グリセオール注	同左	65	
	クリニザルツ輸液	クリニザルツB	203	
	クリニット注10%	同左	121	
	クリニット注5%(販売中止)	同左	120	
	グルトバ注600万	同左	220	
	ケイツーN静注10mg	ケイツーN注	97	
	K. C. L. 点滴液15%	K. C. L. 注射液(1号)★	108	
	K. C. L. 点滴液15%	K. C. L. 注射液(1号)	109	
	KN1号輸液	KN補液1A	162	
	KN2号輸液	KN補液2A	180	
	KN3号輸液	KN補液3B	170	
	KN4号輸液	KN補液4A	177	
	KNMG3号輸液	同左	173	
	ケタラール静注用200mg	ケタラール10	1	
	ケニセフ静注用1g	同左	245	
	献血ノンスロン500注射用	献血ノンスロン	263	
	ゲンタシン注10	同左	251	
	小林糖液5%	同左	114	
	さ行	サイレース静注2mg	同左	3
		サクシゾン注射用100mg	サクシゾン100	84
ザンタック注射液50mg		ザンタック注射液	74	
サンディミュン点滴静注用250mg		サンディミュン注射液	226	
シグマート注2mg		同左	50	
ジゴシン注0.25mg		ジゴシン注★	19	
硝酸イソソルビド注100mg/100mL「タカタ」		サークレス注0.1%	47	
硝酸イソソルビド注50mg/50mL「タカタ」		静注用キシロカイン2%	47	
静注用マグネゾール20mL		同左	18	
水溶性ブレドニン10mg		同左	87	
スルペラゾン静注用0.5g		同左	259	
生食液「小林」		同左	159	
セファメジンα注射用		同左	239	

	製品名（2014年4月現在）	掲載されている製品名	掲載番号
さ行	セフメタゾン静注用1g	同左	248
	セレネース注5mg	セレネース注射液★	11
	セレネース注5mg	同左	12
	ゾシン静注用4.5	同左	261
	ソセゴン注射液30mg	同左	10
	ソリターT1号輸液	ソリターT1号	160
	ソリターT2号輸液	ソリターT2号	181
	ソリターT3号G輸液	ソリターT3号G	167
	ソリターT3号輸液	ソリターT3号	164
	ソリターT4号輸液	ソリターT4号	178
	ソル・コーテフ注射用100mg	ソル・コーテフ	83
	ソル・メドロール静注用125mg	ソル・メドロール125	88
	ソルアセトF輸液	同左	183
	ソルコセリル注2mL	ソルコセリル「注」	75
	ソルダクトン静注用100mg	ソルダクトン100mg★	40
	ソルデム1輸液	同左	161
	ソルデム2輸液	同左	179
	ソルデム3AG輸液	ソルデム3AG	168
	ソルデム3AG輸液	同左	169
	ソルデム3A輸液	ソルデム3A	165
	ソルデム3A輸液	同左	166
ソルデム3PG輸液	同左	174	
ソルデム6輸液	同左	176	
ソルマルト輸液	ソルマルト	208	
ソルラクトD輸液	ソルラクトD	197	
ソルラクトTMR輸液	ソルラクトTMR	200	
ソルラクト輸液	ソルラクト	191	
た行	ダイアモックス注射用500mg	注射用ダイアモックス	41
	タチオン注射用200mg	タチオン注射用	217
	タンボコール静注50mg	タンボコール注50mg	36
	チエナム点滴静注用0.5g	チエナム点滴用★	257
	注射用エフオーワイ100	注射用エフオーワイ	224
	注射用エラスポール100	同左	227
	注射用カタクロット20mg	注射用カタクロット	222
	注射用タゴシッド200mg	注射用タゴシッド	232
	注射用パニマイシン100mg	注射用パニマイシン	252
	注射用フサン10	注射用フサン	229
	注射用マキシピーム1g	同左	240
	注射用ルシドリール250mg	注射用ルシドリール	64
	ツインパル輸液	同左	139
	1%ディプリバン注	同左	2
低分子デキストラン糖注	同左	163	
デカドロン注射液3.3mg	デカドロン注射液	85	
テラブチク静注45mg	テラブチク静注	66	

★：遮光条件で試験実施

	製品名 (2014年4月現在)	掲載されている製品名	掲載番号	
た行	テルモ糖注5%	テルモ糖注	113	
	ドブトレックス注射液100mg★	同左	29	
	トランサミン注10%	トランサミンS注	211	
	トリバレン1号輸液	トリバレン1号	123	
	トリフリード輸液	トリフリード	204	
	ドルミカム注射液10mg	ドルミカム注	5	
な行	ナゼア注射液0.3mg	同左	76	
	ニコリン注射液500mg	ニコリン注射液	61	
	ニトプロ持続静注液30mg	同左	43	
	ニトロール注5mg★	同左	46	
	ネオアミュー輸液	ネオアミュー	131	
	ネオシネジコワ注1mg	ネオシネジコワ注1号	44	
	ネオバレン1号輸液	同左	148	
	ネオバレン2号輸液	同左	149	
	ネオフィリン注250mg	ネオフィリン注	20	
	ネオラミン・スリーピー液 (静注用)	同左	99	
	ネオラミン・マルチV注射用	ネオラミン・マルチV	102	
	ノバスタンHI注10mg/2mL	同左	56	
	ノボ・硫酸プロタミン静注用100mg	ノボ・硫酸プロタミン	213	
	ノボリンR注100単位/mL	同左	89	
	ノルアドレナリン注1mg	ノルアドレナリン★	81	
	ノルアドレナリン注1mg	ノルアドレナリン	82	
	は行	ハイ・プレアミンS注-10%	同左	134
		ハイカリックRF輸液	ハイカリックRF	127
		ハイカリック液-1号	同左	124
ハイカリック液-2号		同左	125	
ハイカリック液-3号		同左	126	
ハベカシン注射液100mg		ハベカシン注射液	231	
ハルトマンD液「小林」		同左	198	
ハルトマン輸液 pH:8「NP」		ハルトマン液 pH:8-ミドリ	194	
ハルトマン輸液「NP」		ハルトマン液-ミドリ	193	
パンスポリン静注用1g★		同左	242	
パントール注射液100mg		同左	93	
ハンブ注射用1000		同左	55	
ピーエヌツイン-1号輸液		ピーエヌツイン-1号	140	
ピーエヌツイン-2号輸液		ピーエヌツイン-2号	141	
ピーエヌツイン-3号輸液		ピーエヌツイン-3号	142	
ビーフリード輸液		ビーフリード点滴静注用	153	
ビーフリード輸液		同左	154	
ビカーボン輸液		ビカーボン注	188	
ピカナイト輸液		同左	189	
ピクシリン注射用1g		注射用ピクシリン	237	
ピソルボン注4mg		ピソルボン注射液★	70	
ピソルボン注4mg		ピソルボン注射液	71	
ビタジェクト注キット		ビタジェクト	104	
ビタシミン注射液500mg		同左	96	

	製品名 (2014年4月現在)	掲載されている製品名	掲載番号
は行	ビタメジン静注用	同左	100
	ピドキサール注30mg	同左	94
	ピトレシン注射液20	ピトレシン注射液	78
	ヒューマリンR注100単位/mL	ヒューマリンR注U-100	90
	ファーストシン静注用1g	同左	241
	ファンガード点滴用75mg	同左	262
	フィジオ140輸液	フィジオ140	186
	フィジオ140輸液	同左	187
	フィジオ35輸液	フィジオ35	205
	フィジオゾール3号輸液	フィジオゾール・3号	171
	フェジン静注40mg	同左	106
	フラグミン静注5000単位/5mL	フラグミン静注5000	214
	プラスアミノ輸液	プラスアミノ	133
	フラビタン注射液10mg	同左	92
	ブリカニール皮下注0.2mg	ブリカニール注射液	72
	プリンペラン注射液10mg	プリンペラン注射液	77
	フルカリック1号輸液	フルカリック1号	145
	フルカリック2号輸液	フルカリック2号	146
	フルカリック3号輸液	フルカリック3号	147
	5%フルクトン注(販売中止)	同左	116
	フルマリン静注用1g	同左	249
	フルマリン静注用1g★	同左	250
	プレドバ注600	同左	28
	プレビタS注射液	同左	98
	プロアクト静注用1g(販売中止)	プロアクト静注用(販売中止)	246
	プログラフ注射液5mg	同左	228
	プロスタンディン注射用20μg	注射用プロスタンディン★	58
	プロスタンディン注射用20μg	注射用プロスタンディン	59
	プロタノールL注0.2mg	プロタノール-L注★	21
	プロタノールL注0.2mg	プロタノール-L注	22
	プロテアミン12注射液	同左	129
	ヘスバンダー輸液	ヘスバンダー	209
	ベナンバックス注用300mg	ベナンバックス300	264
ヘパリンナトリウム注N1万単位/10mL「AY」	ヘパリンナトリウム注N「シミズ」	215	
ヘパルス静注0.5g	ヘパルス	7	
ベルサンチン静注10mg	ベルサンチン注射液	45	
ヘルベッサー注射用250	同左	49	
ヘルベッサー注射用50★	同左	48	
ペントシリン注射用2g	同左	238	
ホスミシンSキット2g(販売中止)	同左	255	
ホスミシンS静注用2g	静注用ホスミシンS★	254	
ボスミン注1mg	ボスミン注★	79	
ボスミン注1mg	ボスミン注	80	
ポタコールR輸液	ポタコールR	201	
ホロサイルS静注用1g(販売中止)	ホロサイルS静注用(販売中止)	253	
ま行	マグセント注100mL	同左	91

	製品名 (2014年4月現在)	掲載されている製品名	掲載番号	
ま行	マスキュラックス静注用4mg	マスキュラックス静注用	17	
	マルタミン注射用	同左	103	
	マルトス輸液10%	マルトス-10	117	
	マンニトールS注射液	同左	122	
	20%マンニトール注射液「YD」	20%マンニトール注射液「日研」	63	
	ミオコール静注1mg	同左	52	
	ミオコール静注5mg	同左	54	
	ミネラリン注	同左	111	
	ミリスロール注1mg/2mL	ミリスロール注★	51	
	ミリスロール注5mg/10mL	ミリスロール注	53	
	ミルリーラK注射液22.5mg	同左	32	
	ミルリーラ注射液10mg	同左	31	
	メイセリン静注用1g	注射用メイセリン	247	
	メイロン静注7%	メイロン	218	
	メキシチール点滴静注125mg	メキシチール注射液★	38	
	メチコバル注射液500μg★	同左	95	
	メロベン点滴用バイアル0.5g	同左	256	
	モダシン静注用1g	モダシン静注用	243	
	や行	ユナシン-S静注用0.75g	同左	258
		ユニカリックL輸液	同左	143
		ユニカリックN輸液	同左	144
ら行	ラクテックD輸液	ラクテックD注	199	
	ラクテックG輸液	ラクテックG注	196	
	ラクテック注	同左	192	
	ラクトリンゲルS注「フソー」	同左	195	
	ラクトリンゲル液「フソー」	同左	190	
	ラジカット注30mg	同左	14	
	ラシックス注20mg	ラシックス注★	42	
	リカバリン注1000mg	リカバリン注S	212	
	リスモダンP静注50mg	リスモダンP注★	39	
	リナセート輸液	リナセート	185	
	リバレス注	同左	156	
	リブル注5μg	リブル	57	
	リングル液「オーツカ」	同左	202	
	リンデロン注4mg(0.4%)	リンデロン注	86	
	レギチン注射液10mg	レギチン注射液★	268	
	レギチン注射液10mg	レギチン注射液	269	
	レベタン注0.2mg	レベタン注	8	
	レミナロン注射用500mg	同左	225	
	ロカイン注1%	同左	15	
ロセフィン静注用1g	同左	244		
ロピオン静注50mg	ロピオン注	9		
ロヒプノール静注用2mg	同左	4		
ロルファン注射液1mg	ロルファン注射液	67		
わ行	ワソラン静注5mg	ワソラン注★	37	

参 考 : 【 配 合 薬 剤 (多 剤) 掲 載 一 覧 (五 十 音 順) 】

<各製品については、各々の添付文書等をご確認ください。>

本剤 (掲載されている製品名)	輸 液		配 合 薬 剤		掲載 番号
	製品名 (2014年4月現在)	掲載されている製品名	製品名 (2014年4月現在)	掲載されている製品名	
ペルジピン注射液2mg	光糖液5%	同左	アミノレバン点滴静注	アミノレバン	23
	光糖液5%	同左	クリニット注10%	同左	24
	光糖液5%	同左	ハルトマン輸液 pH:8「NP」	ハルトマン液 pH:8-ミドリ	26
	光糖液5%	同左	ヘスパンダー輸液	ヘスパンダー	29
	光糖液5%	同左	マンニトールS注射液	同左	30
	光糖液5%	同左	ラクテック注	同左	31
	光糖液5%	同左	ラクテックG輸液	ラクテックG注	32
	光糖液5%	同左	ラクトリンゲルS注「フソー」	ラクトリンゲルS注「フソー」	33
ペルジピン注射液10mg	大塚生食注	同左	アドナ注(静脈用)100mg	アドナ(AC-17)注射液(静脈用)	1
	大塚生食注	同左	イオパミロン注370	イオパミロン370	3
	大塚生食注	同左	オムニパーク300注20mL	オムニパーク300	5
	大塚生食注	同左	点滴用キシロカイン10%〔販売中止〕	同左	7
	大塚生食注	同左	ソルダクトン静注用100mg	ソルダクトン100mg	9
	大塚生食注	同左	チエナム点滴静注用0.5g	チエナム点滴用	11
	大塚生食注	同左	トランサミン注10%	トランサミンS注	13
	大塚生食注	同左	パンスポリン静注用1g	同左	15
	大塚生食注	同左	フルマリン静注用1g	同左	17
	大塚生食注	同左	ホスミシンS静注用2g	静注用ホスミシンS	19
	大塚生食注	同左	ラシックス注20mg	同左	21
	ブドウ糖注5%PL「フソー」	グルノン-5%	アドナ注(静脈用)100mg	アドナ(AC-17)注射液(静脈用)	2
	ブドウ糖注5%PL「フソー」	グルノン-5%	イオパミロン注370	イオパミロン370	4
	ブドウ糖注5%PL「フソー」	グルノン-5%	オムニパーク300注20mL	オムニパーク300	6
	ブドウ糖注5%PL「フソー」	グルノン-5%	点滴用キシロカイン10%〔販売中止〕	同左	8
	ブドウ糖注5%PL「フソー」	グルノン-5%	ソルダクトン静注用100mg	ソルダクトン100mg	10
	ブドウ糖注5%PL「フソー」	グルノン-5%	チエナム点滴静注用0.5g	チエナム点滴用	12
	ブドウ糖注5%PL「フソー」	グルノン-5%	トランサミン注10%	トランサミンS注	14
	ブドウ糖注5%PL「フソー」	グルノン-5%	パンスポリン静注用1g	同左	16
	ブドウ糖注5%PL「フソー」	グルノン-5%	フルマリン静注用1g	同左	18
	ブドウ糖注5%PL「フソー」	グルノン-5%	ホスミシンS静注用2g	静注用ホスミシンS	20
	ブドウ糖注5%PL「フソー」	グルノン-5%	ラシックス注20mg	同左	22
光糖液5%	同左	フラビタン注射液10mg	同左	28	
光糖液5%	同左	ラクテック注	同左	34	
光糖液5%	同左	ラクテックG輸液	ラクテックG注	35	
ペルジピン注射液20mg	光糖液5%	同左	タチオン注射用200mg	タチオン注射用	25
	光糖液5%	同左	フラビタン注射液10mg	同左	27

注射用Ca拮抗剤

ペルジピン注射液2mg

ペルジピン注射液10mg

ペルジピン注射液25mg

ニカルジピン塩酸塩注射液

一般名又は成分 単位/容量	投与方法	用時 溶解	規格 pH域	試料 pH	(A) N/10HCl (B) N/10NaOH	変化点pH 又は最終pH	移動 指数	変化所見	希釈試験								浸透圧比 (約)
									20mL				500mL				
									0	30min	1hr	3hr	0	30min	1hr	3hr	
ニカルジピン塩酸塩 2mg/2mL	静・点		3.0~4.5	3.82	(A) 10.0	1.38	2.44	変化なし									1
					(B) 0.04	5.80	1.98	白濁					7.10	6.34	6.11	5.98	
ニカルジピン塩酸塩 10mg/10mL	静・点		3.0~4.5	3.66	(A) 10.0	1.61	2.05	変化なし									1
					(B) 0.04	5.19	1.53	白濁					6.03	6.18	5.68	5.67	
ニカルジピン塩酸塩 25mg/25mL	静・点		3.0~4.5														1

参考文献) 幸保文治: 医薬ジャーナル, 25(7): 1541-1559, 1989

〔凡 例〕

1. 投与方法

静は静脈内注射、点は点滴静注、筋は筋肉内注射、皮は皮下注射、動は動脈内注射を意味する。

2. 用時溶解

●印は用時溶解して用いる注射薬を示し、※は用時懸濁して用いる注射薬を示す。

空欄は溶解済の注射薬を示す。

3. 規格pH域

添付文書記載のpH域を記入した。

4. 試料pH

実験に供した注射薬のpHである。

5. (A) N/10 HCl、(B) N/10 NaOH

0.1N HCl、0.1N NaOHにより上限を10mLとして滴定を行ない、外観変化が認められた場合は、この時の滴下mL数とし、外観変化が認められなかった場合は10mLとした。

変化点pHまたは最終pH：上記滴定により、外観変化が認められたpHを変化点pHとし、外観変化が認められなかった場合は、10mL滴下時のpHを最終pHとした。

移動指数：上記pHと試料pHとの差を示す。

6. 変化所見

0.1N HCl、0.1N NaOHの滴定における外観変化を記入した。

7. 希釈試験における20mL、500mLの0の欄の数値は希釈直後のpH、500mLの3hrの欄()内の数値は使用した蒸留水のpHを示す。

+は外観変化の認められるもの。

-は外観変化の認められないもの。すなわち再び澄明となったことを意味する。

()は外観変化のうち、変色をあらわす。判定はいずれも肉眼的に行う。

8. 浸透圧比

浸透圧比は氷点降下法により測定し、生理食塩液を1として比であらわした(添付文書記載の値を記載した)。

9. その他

用時溶解以外の空欄は、データなしを意味する。

(幸保文治著「注射薬便覧」南山堂1976の凡例に基づく)

注射薬のpH変動試験法及び希釈試験法

1. 試料

1アンプル、1バイアル中の容量が10mL以上の場合には10mL、10mL未満の場合には1アンプル、1バイアルの容量をもって試料とする。用時溶解して用いる注射薬は添付の溶解液、又は添付文書中に指定の注射液の指定量で溶解する。

2. pH変動試験法

0.1N HCl、0.1N NaOHにより、上限を10mLとして滴定を行ない、外観変化が認められた場合は、この時のpH(変化点pH)及び滴定量を測定する。また、外観変化が認められなかった場合は、10mL滴下時のpH(最終pH)を測定する。

3. 希釈試験

外観変化の認められるものについては変化点pHにおいて、さらに20mLおよび500mLの蒸留水を加えて良く攪拌し、外観変化の状態を希釈直後、30分、1時間、3時間、室温にて観察する。

(幸保文治著「注射薬便覧」南山堂1976 P.32に基づく)